

昭和十一年三月一日印刷
昭和十一年三月十日發行

INOUE'S ENGLISH CORRESPONDENCE COURSE

第一學期第六號附錄

1—A

Educational Records

Lesson I

This is a dog.

Lesson II

Is this a dog?

Yes, this is a dog.

Is this a cat?

No, this is not a cat.

Is that a rat?

Yes, that is a rat.

第一課

これは犬であります。

第二課

これは犬でありますか。

はい、これは犬であります。

これは猫ですか。

いいえ、これは猫ではありません。

あれは鼠ですか。

はい、あれは鼠です。

【註】 Lesson I (れ・スン ワン)

第一課。 this (ジス) これは。 is

(イズ) である。 a dog (ア ドッグ)

犬。(a は『一つの』といふ意であるが、意味が弱くて譯さないのが普通)

This is a dog. 『これは犬である』(語の配置に注意)。 Lesson II

(れ・スン トゥー) 『第二課』

Is this a dog? これは犬ですか。

英語では疑問文のときには後の方を

あげて読む。?は『疑問符』で、讀

まないものである。 yes (イエス)

〔イエを強くスは息ばかりの『ス』〕

はい。さうです。 Yes, this is a dog.

はい、これは犬です。 Is this a cat?

cat (キャット) 猫。(これは疑問文だ

から終りをあげる) これは猫であり

ますか。 no (ノウ) 『ノ』が強く

『ウ』は弱い) いいえ。 not (ノット)

〔強い『ノ』の音に^トをつける〕…

でない。 No, this is not a cat. い

ええ、これは猫ではありません。 Is

that a rat? that (ザット) 〔舌の

先をかんで『ず』の音を出し、アの

音を續ける〕 that あれは。 rat (ラッ

ト) 鼠。 Is that a rat? あれは鼠

ですか。 Yes, that is a rat. はい、

(1)

井上英語教育
レコードテキスト

編輯
印刷
發行
人

東京市麹町區富士見町三ノ三
榮山格太郎

發行所
東京市麹町區富士見町三ノ三
井上通信英語學校

Is that a tent?

No, that is not a tent.

That is a net.

Lesson III

A boy has a dog.

A dog has a tail.

Has a cat a tail?

Yes, it has a tail.

Lesson IV

Is this a hen?

Yes, this is a fat hen.

Is it a big dog?

No, it is not a big dog.

It is a small dog.

Is that a black cat?

Yes, it is a black cat.

It is a big and black cat.

あれは鼠です。Is that a tent? あれはテントであるか。net (ネット) 網。has (ハズ) 持つてゐる。boy (ボーイ) 少年。『ボ』の音は日本語の『ボ』より口を広く開く音。Lesson III (れ・スン すり) 『す』は舌の先を軽くかんで出す音 第三課。A boy has a dog. 少年は犬を持つ。(『少年は、持つ、犬を』の順) tail (テイル) 尻尾。it (イット) 『イ』が強く『ト』は息だけにする それ

あれはテントですか。

いいえ、あれはテントではありません。

あれは網です。

第三課

一人の少年が犬を持つてゐます。

犬は尾を持つてゐます。

猫は尾を持つてゐますか。

はい、それは尾を持つてゐます。

第四課

これは鶏ですか。

はい、これは肥つた鶏です。

これは大きな犬ですか。

いいえ、これは大きな犬ではありません。

それは小さな犬です。

あれは黒い猫ですか。

はい、あれは黒い猫です。

それは大きな黒い猫です。

(は) Lesson IV (れ・スン フォア) 第四課。hen (ヘン) 牝鶏。fat (ファット) 上歯を下唇にあて、息を出し乍ら急に口を開き『ファ』の音を出しトッを續ける。『肥えた』の意。a fat hen 肥えた鶏。big (ビッグ) 大きな。small (スモール) [モは日本語のよりも口を広くする] 小さな意。black (ブラック) 黒い。and (アンド) そして。A big and black cat. 大きなそして黒い猫。

Lesson V

Tom is a good boy.
 Jim is a good boy.
 Tom and Jim are good boys.
 They are good boys.
 I am a good boy.
 Tom and I are good boys.
 We are good boys.
 You are a good boy.
 You and Jim are good boys.
 You are good boys.

Lesson VI

Have you a dog?
 Yes, I have a dog.
 Have you a cat?
 No, I have not a cat.
 What have you?
 I have a big dog.

Lesson V (レ・スン ファイヴ) 第五課。good (グッド) 良い。Tom (トム) Jim (ヂム) 共に人名。good boy 良い少年。are (アー) である。
 (主語が一つのことをあらはすときは is、二つ以上のものをあらはすときは are を用ひる)。boys (ホイズ) 少年達。[s は二つ以上をあらはす複数の形] they (ゼイ) 彼等は。I (アイ) 私は。am (アム) である。(I につくときに用ひる) we (ウィ) 私共は。you (ユー) 『あなた』『あ

第五課

トムはよい少年です。
 ジムはよい少年です。
 トムとヂムはよい少年です。
 彼等はよい少年です。
 私はよい少年です。
 トムと私はよい少年です。
 私共はよい少年です。
 あなたはよい少年です。
 あなたとヂムはよい少年です。
 あなた達はよい少年です。

第六課

あなたは犬を持つてゐますか。
 はい、私は犬を持つてゐます。
 あなたは猫を持つてゐますか。
 いゝえ、私は猫を持ちません。
 あなたは何を持つてゐますか。
 私は大きな犬を持つてゐます

なた達』の兩方の意味に使へる。〔これは、その場合によつてどちらの意味か判別すべきである。〕 Lesson VI (レッスン シックス) 第六課。have (ハヴ) 持つ。(has と同意味であるが、主語が単数の時に have は主語が複数の時に用ひる、但し I, you には、単数だが常に have を用ゆ。) Have you a dog? (あなたは犬を持つてゐますか) what (ウオット) 何を。What have you? (あなたは何を持つてゐますか)



本レコード英文著作者
井上十吉先生

本レコードに使用された英文は、我國英學界の父、井上十吉先生御著作の『井上英語講義録』及び中等教科書『井上英語新讀本』(Inoue's New English Readers) 及び『井上英語補助讀本』(Inoue's Supplementary English Readers) 中にあります。



本レコード吹込者
Andrew F. Thomas 先生
M. A. (Oxon) M. R. S. T.

本レコード吹込者は、東京文理科大学及び東京高等師範學校教授兼法政大學講師である アンドリュ・エフ・トマス先生であります。先生は純英國人で、井上通信英語學校校長井上當藏先生と同じく英國オックスフォード大學御出身であります。その溫雅圓滿なる人格と共に、その發音は極めて正しく殊に『子音』の明瞭な事は他のレコードの及ぶ所ではありません。

【注意】 本レコードは、一分間に七十六回轉の速度で御掛け下さい(レコード袋には八十回轉とありますが)。正しく七十六回轉にするには、最初蓄音器の圓盤の一箇所に白い紙を貼り、次に機械な回轉し乍ら、時計の秒針とその白い紙とを見比べて、一分間に何回白い紙が回轉したかを調べ、遅い速いを調節器で調節して、丁度七十六回轉になるやうに合はせて下さい。

また、原文と引き合はせて讀む際、讀み易くするために、最初は蓄音器の回轉數を六十五回轉位にしてやつて見るのも有益です。そして、數回やつてついてゆけるやうになつたら、次は七十回轉位、それから最後は矢張七十六回轉にすれば、それが正しい音聲であります。やつて御覽なさい。

Educational



Records

LESSON LXXVII

Make haste, or we shan't catch the train.

If we don't catch it, we'll be in time for the next.

Don't be a fool; we must catch this one.

We must run for it.

Yes, come along; we'll run as fast as we can.

The train has come out of the tunnel and is rushing into the station.

【註】LXXVII=seventy-seven(セ・ヴンティセヴン) 七十七。make (メイク) 作る。haste (ヘイスト) 急ぎ。make haste 急ぐ。(茲では『急げ』といふ命令形。or (オア) さもないと。(命令法のあとに來たときにはいつもこの意味) shan't (シャ・ン・ット) …ないであらう。(shall not を縮めた形) catch (キャッチ) 捕える。train (トレイン) 汽車。catch the train 汽車に乗る。汽車に間に合ふ。don't (ドウト) しない。(do not を縮めた形) if we don't catch it (若し私共がそれに乗らねば) we'll (ウィー・ル) 私達は…しませう。(we shall を縮めた形) next (ネクスト) 次のもの。We'll be in time for the next. 次の汽車に間に合ふでせう。be in time for

第七十七課

急きなさい、でないと私達は汽車に乗れないでせう。

若しそれに乗れなければ次の間に合ふでせう。

馬鹿お言ひでないよ、私共はその汽車に乗らねばならぬのです。

私達はその汽車に走らねばならぬ。

さうです、さあ、出来るだけ早く走らう。

汽車はトンネルから出た、今や停車場へ疾走してゐます。

…に間に合ふ) fool (フール) 馬鹿者。Don't be …であるな。Don't be a fool. 馬鹿なことをいふな。must (マスト) ねばならぬ。this one 此の汽車。(one はここでは train を受けた語。run (ラン) 走る for it それのために。その汽車に乗るために。We must run for it. その汽車に (it) 乗るために走らねばならぬ。along (アロ・ンク) に沿ふて。come along さあ一緒にお出で(命令法)。さあ(人を促す語)。fast (ファースト) 速かに。as fast as we can 私達出来るだけ速かに。tunnel (タ・ヌル) トンネル。has come out of the tunnel トンネルから出て來た。rushing (ラ・シンク) 疾走しつゝ。station (ステ・イ・シャン) 停車場。is rushing into the station 停車場の中へと疾走してゐ

It has reached the station.
I hear the guard's whistle.
Puff, puff, puff goes the
train; and we are too late.

LESSON LXXVIII

I never ran so fast as I did
just now.

I am out of breath.

I feel quite tired.

We ran only about a mile.

You ran so fast that I could
hardly keep up with you.

I am sorry if I ran too
fast for you.

We'll rest somewhere.

Let's enter the station and
wait on the platform for the
next train.

る。reached (リーチト) 着いた。
It has reached the station. それは
停車場についた。guard's (ガーズ)
車掌の。(s は…の) whistle (ウ
ィ・スル) 呼子。puff (パッフ) 汽車
の吐く煙の音を言葉にした語。too
(トゥー) あまりに。late (れイト)
遅れる。We are too late. 私共は
餘り遅かった。

LXXVIII=seventy-eight (セ・ゲン
ティエイト) 七十八。never (ネ・ヴ
ェ) …今迄…したことがない。ran
(ラン) 走つた。never (not)…so
fast as… ほど早く…したことはな
い。just (ジャスト) たつた。now
(ナウ) 今。I never ran so fast as
I did just now. 私がたつた今な
した(走つた)程早く走つたことは今ま
でになかった。breath (ブレス) 息。
I am out of breath. 息の外に
ある、(即ち)息がない、息が切れる。
feel (フィーる) 感ずる。quite (ク

それは停車場についた。
車掌の呼子がきこえる。
パッ、パッ、パッと汽車は動いて
行く、そして私達は遅れたのだ。

第七十八課

私はたつた今程早く走つたこ
とは今までありませんでした。

私は息が切れました。

私は全く疲れました。

私は一哩位しか走らなかつた
あなたが大變早く走つたので
私はあなたについて走れませ
んでした。

あなたに取つてあまり早く私
が走つたのなら、御氣の毒でし
た。

どこかで休みませう。

停車場へ入つて、昇降場で次
の汽車を待つてゐませう。

ウァイト) 全く。tired (タイアド)
疲れて。I feel quite tired. 私は全
く疲れを感じてゐる、勞れてゐる。
only (オ・ウンリ) など。about (ア
バ・ウト) 約。mile (マイる) 哩。
so…that …あまり…だつたので。
could (クッド) 出来た。can (キャ
ン) の過去。hardly 殆んど…ない。
keep (キープ) 保つ。keep up
with …について行く。sorry (ソ・
リ) 氣の毒。I am sorry. 氣の毒に
思ふ。if I ran too fast for you あ
なたに取つてあまり早く私が走つた
のなら。rest (レスト) 休息する。
somewhere (サム・ウェア) 何處か
で。let's (れッツ) (let us を縮め
たもの) 我々に…せしめよ、しよ
うではないか、しませう。enter (エ・
ンタ) 入る。wait (ウェイト) 待つ。
platform (プラットフォーム) 昇降
所。wait…for the next train 次の
汽車を待つ。(wait…for …を待つ)

That will give us half an hour's rest.

LESSON LXXIX

- A. Where are you going to-day?
B. I am going to Kobe.
A. Are you going there for pleasure?
B. No, I am going there on business.
A. By what train are you going to leave Tokyo?
B. I shall start by the train which leaves Tokyo at six o'clock this evening.
A. How long will it take to get to Kobe?
B. It will take fourteen hours, so that I shall arrive at Kobe at eight

half (ハーフ) 半分. hour's (アワズ) 時間の. half an hour's rest 三十分の休息. That will give us half an hour's rest. それは我々に三十分の休息を與へるでせう。我々は三十分間休めるでせう。

LXXIX=seventy-nine (セ・ヴン・ティ・ナイン) 七十九. where (ウェア)

どこへ. are you going あなたは行きますか. to-day (トゥ・デイ) 今日. pleasure (プレ・ジャ) 喜び. for pleasure 遊びに. there (ゼア) あちらへ. business (ビ・ズネス) 用事. on business. 用事のために. by (バイ) …によつて. by what train どの汽車で. leave (リーヴ) 去る、立つ. are going to+動詞…する積り. By what train

私達はさうすれば三十分位は休めるでせう。

第七十九課

- A. 今日はどこへ御出でになるのですか。
B. 神戸へ行くところです。
A. そこへ御遊びに御出でになるのですか。
B. いえ、用事で行くのです。
A. 何時の汽車で東京を御發ちですか。
B. 今晚六時東京發の列車で發ちます。
B. 神戸につくまでどのくらいかかりますか。
A. 十四時間かゝりませう、そ

are you going to leave Tokyo? どの汽車で東京を立つ積りですか. start (スタート) 出發する. o'clock (オクロー・ク) …時. which (ウィッチ) (…後から讀んで) 所の. by the train which leaves Tokyo at six o'clock 六時に東京を立つ(所の)汽車で. leaves (リーヴズ) leave (リーヴ) が I, you 以外の單數 (一つのもの) についたとき、かく -s をつける. how long どれだけ長い時間. will it take (時間がかゝるか) get (ゲット) 到着する. How long will it take to get to Kobe? 神戸に到着するにはどの位時間がかゝるか. fourteen (フォー・ティーン) 十四. so that それで. arrive (アラ・イヴ) 到着する. to-morrow (トウ

o'clock tomorrow morning.

LESSON LXXX

- A. Are you going alone?
B. No, my elder brother is going with me.
A. Then, you will not be quite lonely.
B. No, I do not think so.
A. Well, I wish you a very pleasant journey.
B. Thank you, I hope to see you again when I come back to Tokyo.
A. So do I, Good-bye.
B. Good-bye.

モ・ロウ 明日(の)。morning(モ・一ニツ) 朝。so that 以下は、それで明朝八時に神戸につくでせう。(I shall は未来)

LXXX=eighty (エ・イティ) 八十。
alone (ア・ローン) 獨りで。Are you going alone. 獨りで行くので

すか。elder brother 兄。is going with me 私と一緒に。

then(ゼン) それなら。lonely(ロ・ウンリ) 淋しく。think(シンク) 思ふ。No, I do not think so. そうです、私はそうは思ひません。(No は英語では問ひ方はどんなにあつて

れで明朝八時に神戸につくでせう。

第 八 十 課

- A. あなたは只一人で御出でになりますか。
B. いえ、兄が私と一緒に行く筈です。
A. それでは、全く淋しくはないでせう。
B. え、淋しいとは思ひません。
A. では、愉快に旅行をなさらんことを御祈り致します。
B. 有りがたう、歸京したとき又お目にかゝり度いものです。
A. 私もさう望んでゐます、さよなら。
B. さよなら。

もその内容を否定するときに用ひるから、日本語では『ハイ』といふのにあたることもある。)well(ウェル) それでは。wish(ウィッシュ) 願ふ。I wish …を祝ふ。pleasant(プレ・ズント) 愉快な。journey(ジャ・ニ) 旅行。I wish 以下は、非常に愉快な旅行をされることを祈る。

thank you 有難う。hope(ホープ) 希望する。again(アゲ・イン) 再び。when(ウェン) …したとき。back(バック) かへる。so do I 私 はそうす、私も同じです。good-bye(グッド・バイ) さよなら。

昭和十一年三月一日印刷
昭和十一年三月十日發行

INOUE'S ENGLISH CORRESPONDENCE COURSE

第一學期第十二號附錄

2—A

Educational Records

Columbus

(1) Columbus lived more than four hundred years ago. He was born in Italy. Columbus loved the ocean.

(2) People did not know much about the earth then; many of them thought it was flat. Columbus thought it must be round.

【註】 Columbus (kə'lambəs カラ・ンバス) [固名] 亞米利加の發見者。lived (lɪvd リヴド) [動] 生きた。more (mɔː モー) [形] より多くの。many ('meni メ・ニ) [形] 多くの、の比較級。hundred ('hʌndrəd ハ・ンドゥラッド) [名] 百。years (jəːz イャ〜ズ) [名] 年。year (jəː イャ〜) の複數。ago (ə'ɡəʊ アゴ・ウ) [副] 以前に。more than four hundred years ago (四百年よりもつゝ以前、四百餘年前) was born (wɒz bɔːn ウォズ ボーン) 生れた。born は bear (beə ベア) 生む、の過去分詞。loved (ləvd ラヴド) [動] 愛した。ocean

コロンブス

(1) コロンブスは今から四百餘年前の人である。彼は伊太利に生れた。コロンブスは大海を愛した。

(2) 當時人々は地球について多くを知らなかつた。多くの人々はそれは平たいものだと思つてゐた。(しかし)コロンブスはそれは圓いに違ひないと思つた。

(/ouʃən オ・ウシャン) [名] 大海。people ('piːpl ピー・プル) [名] 人々。know (nou ノウ) [動] 知る。much (matʃ マッチ) [副] 多く。about (ə'baʊt アバ・ウト) [前] について。earth (əːθ アーず) [名] 地球。about the earth 地球のこゝについて。then (ðen ゼン) [副] 當時。thought (θɔːt ソート) [動] 思つた。think (θɪŋk スィンク) 思ふ、の過去。flat (flæt フラット) [形] 平たい。It was flat. それは平たい。be (biː ビー) [動] …である。round (raʊnd ラウンド) [形] 圓い。It must be round. それは圓いに違ひない。said (sed

(1)

井上英語教育
レコードテキスト

東京市豊町區富士見町三ノ三
柴山格太郎

東京市豊町區富士見町三ノ三
發行所 井上通信英語學校

(3) He said he could sail around it, as a fly can walk around an apple.

(4) Columbus wished to go to India. India was a very rich country far to the east.

(5) Columbus believed he could go there by sailing west.

(6) Columbus wished very much to try it. He had no ship and no money.

(7) He asked people to help him. Some made fun of him. Some even thought he was mad.

(3) 彼は、蠅が林檎の周囲を歩ける様に、地球の周囲を航海することが出来ると言つた。

(4) コロンブスは印度に行き度いと思つた。印度は遠い東方にあたる非常に富んだ國であつた。

(5) コロンブスは西へ航海することによつてそこへ行けると信じた。

(6) コロンブスは頻りにそれを試みようとした。が彼は船もなくお金もなかつた。

(7) 彼は人々に助力を求めた。或る人々は彼をからかひ、或る者は彼を氣狂ひだと思つた人さへもあつた。

セッド)〔動〕言つた。say の過去。could (kud クッド)〔助動〕出来た。can の過去。sail (seil セイ)〔動〕航海する。around (ə'raund アラ・ウンド)〔前〕周つて。He said he could sail around it. 彼はそれ(地球)の周囲を航海することが出来る、と言つた。fly (flai フライ)〔名〕蠅。walk (wɔ:k ウォーク)〔動〕歩く。apple (æpl ア・プ)〔名〕林檎。as a fly can walk around an apple (蠅が林檎のまわりを歩く事が出来る様に) wished (wiʃt ウィッシュト)〔動〕欲した。(wish の過去) India (ˈindiə イ・ンディア)〔固名〕印度。Columbus wished to go to India. (コロンブスは印度に行かうと欲した) rich (rit) リッチ)〔形〕富んだ。country (ˈkʌntri カ・ントゥリ)〔名〕國。far (fɑ: ファー)〔形〕遠い、はるか。east (i:st イースト)〔名〕東。country far to the east (東の方にあつて遠い所にある國)。believed (bi'li:vəd ビリ・ーグド)〔動〕信じてゐた。there (ðeə ゼア)〔副〕

あそこへ、彼地へ。to go there (其の地に行くことを)。by (bai バイ)〔前〕によつて。sailing (ˈseilɪŋ セ・イリŋ)〔動名〕航海すること。west (west ウェスト)〔副〕西へ。by sailing west (西へ航海することによつて) try (traɪ トゥライ)〔動〕試みる。wished very much to try it (それを試みようとして非常に欲した) ship (ʃip シップ)〔名〕舟。money (ˈmeni マ・ニ)〔名〕錢、お金。He had no ship and no money. (彼は船も、お金も持たなかつた) asked (ɑ:skt アースクト)〔動〕頼んだ。help (help ヘルプ)〔動〕助ける。asked people to help him (人々に彼を助けてくれるやうに頼んだ) some (səm サム)〔代〕若干の、幾つかのもの。茲では some people の意。made (meɪd メイド)〔動〕作つた。make の過去。fun (fʌn ファン)〔名〕おどけ、滑稽。some made fun of him (人々のうちには彼をからかふものもあつた) even (ˈi:vən イ・ーヴン)〔副〕さへ、すら。mad (mæd

(8) At last Columbus found a friend who helped him. This friend was Isabella, Queen of Spain.

(9) She gave him three ships. She sent one hundred and twenty sailors, too.

(10) The ships sailed and sailed for many days.

(11) The sailors grew afraid. They wished to turn the ship toward home.

(12) Columbus was not afraid. He would not give up. He said, "Sail on!"

(8) 遂にコロンブスは彼を助けて呉れる援助者を見出した。此の友はスペインの女王イサベラであつた。

(9) 彼女は三艘の船を彼に與へた。彼女は又百二十人の水夫を遣はした。

(10) 船は幾日も幾日も航海を續けた。

(11) 水夫達は恐れ出した。彼等は船を故國へ返さうと欲した。

(12) コロンブスは恐れなかつた。彼は斷念しようとしなかつた。彼は言つた、『進め』

マッド)〔形〕氣狂の、氣の狂つた。some even thought he was mad (人々のうちには彼は氣狂ひだと思つたものさへあつた) at last 最後に、遂に。found (faund ファウンド)〔動〕見出した。find (faind ファインド)の過去。friend (frend フレンド)〔名〕友、助力者。a friend who helped him (彼を助ける[ところの]援助者) who help him は friend を形容してある句。

Queen (kwi:n クウィーン)〔名〕女王。Isabella (iza'belə イ:ザベラ)〔名〕女王の名。Spain (spein スペイン)〔固名〕國の名。gave (geiv ゲイヴ)〔動〕與へた。give (giv ギヴ)の過去。She gave him three ships. (彼女は彼に三艘の船を與へた) sent (sent セント)〔動〕遣した。send (send センド)の過去。twenty ('twenti トゥウェンティ)〔形〕二十の。sailors

(seiləz セ・イラズ)〔名〕水夫達。one hundred and twenty sailors (百二十人の水夫) for (fə: フォー)〔前〕…の間。(時間の長さをあらはす語の前に來たときには、…の間) for many days (多くの日の間)。grew (gru: グルー)〔動〕成つた。grow (grou グロウ)の過去。afraid (ə'freid アフレ・イド)〔形〕怖がる。grew afraid (怖くなつて來た) turn (tə:n ターン)〔動〕返す。toward (tə:d トード)〔前〕の方へ。wished to turn the ship toward home (船を故郷の方へ歸さうと欲した) was not afraid (恐れなかつた) would (wud ウッド)〔助動〕欲した。will の過去。give up (giv əp ギヴ アップ) 中止する。would not give up (中止しようとしなかつた) sail on (seil on セイル オン) 進め、(航海を續けよといふ命令法、on は繼續の意)

(3)

(13) Columbus sailed on for many days, without seeing land.

(14) At last they found a beautiful island. How glad they were, then! They even kissed the ground.

(15) The island was near the continent of America.

(16) This was on the morning of October 12, 1492.

(13) コロンブスは幾日も航海を續けたが陸は見えなかつた。

(14) 終に彼は美しい島を見出した。その時彼等はどれ程嬉しかつたことだらう。彼等は土地に接吻さへした程だつた。

(15) その島は亞米利加大陸の近くにあつた。

(16) これは西曆千四百九十二年十月十二日の朝のことであつた。

without (wi'ðaut ウィざ・ウト) 〔前〕…なしに。seeing ('si:ɪŋ スィーイング) 〔動名〕見ること。land (lænd ランド) 〔名〕陸地、土地。sailed on for many days, without seeing land (陸地を見ることなしに幾日も航海した、幾日も航海した。陸地は見えなかつた) beautiful ('bjʊ:tɪfʊl ビューティフル) 〔形〕美しい。island ('aɪlənd ア・イランド) 〔名〕島。glad (glæd グラッド) 〔形〕嬉しい。then ('ðen ゼン) 〔副〕其の時。How glad they were, then! その時彼等はどんなに

嬉しかつたことだらう〔さいふ感歎文〕kissed (kɪst キスト) 〔動〕接吻した。kiss (kɪs キス) の過去。ground (graʊnd グラウンド) 〔名〕地上、大地。They even kissed the ground. (彼等は大地に接吻さへもした) continent ('kɒntɪnənt コンティナント) 〔名〕大陸。near the continent of America (亞米利加大陸の近くに) morning ('mɔ:niŋ モーニング) 〔名〕朝。on the morning 朝に。(普通 in the morning と用ふるが、定つた日の朝の前には on を用ひる)

P o e m

Boats Sail On The Rivers

Boats sail on the rivers,
And ships sail on the seas;
But clouds that sail on the sky
Are prettier far than these.

ボートは川の上を走り、
船は海の上を走る。
しかし空を走る雲は、
それ等よりもずっと綺麗だ。

There are bridges on the rivers,
As pretty as you please;
But the bow that bridges heaven,
And overtops the trees,
And builds a road from earth to sky,
Is prettier far than these.

川の上に橋がある、
あなたの思ふまゝに綺麗だ、
しかし天にかゝれる虹は、
そして木々の上に聳える、
そして地上から空へと路を通ずる虹は、
それ等よりもずっと綺麗だ。

【註】 poem (ˈpouɪm ホ・ウイム) [名] 詩。boats (baʊt ボウト) [名] 小舟。sail (seɪl セイル) [動] (舟が) 走る。river (ˈrɪvə ー・ヴァー) [名] 川。ship (ʃɪp シップ) [名] 舟。sea (siː スイー) [名] 海。cloud (klaʊd クラウド) [名] 雲。sky (skaɪ スカイ) [名] 空。clouds that sail on the sky (空を走るところの雲) prettier (ˈprɪtiə プリ・ティア) [形] …より美しい。pretty (ˈprɪti プリ・ティ) [形] 綺麗な、の比較級。are prettier far than these (これ等〔ボートや舟〕よりずっと綺麗だ) there are …がある。bridge (brɪdʒ ブリッジ) [名] 橋。please (pliːz プリーズ) [動] 満

足さず。as pretty as you please お氣に召す程綺麗だ。bow (baʊ) [名] 虹。bridge (brɪdʒ ブリッジ) [動] 架ける。heaven (ˈhevən ヘヴン) [名] 空。overtops (ˈoʊvəˌtɒp オウヴァット・ブ) [動] 聳える。build (bɪld ビルド) [動] 築く。road (roʊd ロード) [名] 路。earth (ɜːθ アース) [名] 大地。the bow that bridges heaven, and overtops the trees and builds a road from earth to sky に於て、関係代名詞 that は bridges, overtops 及び builds の主語となつてゐる。these は橋 (複数) を受けた代名詞。



本レコード英文著作者
井上十吉先生



本レコード吹込者
Andrew F. Thomas 先生

本レコードに使用された英文は
我國英學界の父、井上十吉先生御
著作の『井上英語講義録』及び中
等教科書『井上英語新讀本』(Ino-
ue's New English Readers) 及
び『井上英語補助讀本』(Inoue's
Supplementary English Readers)
中にあります。

本レコード吹込者は、東京文理
科大學及び東京高等師範學校教授
兼法政大學講師である アンドリュ
ー・エフ・トマス先生であります。
先生は純英國人で、井上通信英語
學校校長井上富藏先生と同じく英
國オックスフォード大學御出身で
あります。その溫雅圓滿なる人格
と共に、その發音は極めて正しく
殊に『子音』の明瞭な事は他のレ
コードの及ぶ所ではありません。

【注意】 本レコードは、一分間に七十六回轉の速度で御掛け下さ
い(レコード袋には八十回轉とありますが)。正しく七十六回轉に
するには、最初蓄音器の圓盤の一箇所に白い紙を貼り、次に機械
を回轉し乍ら、時計の秒針とその白い紙とを見比べて、一分間に
何回白い紙が回轉したかを調べ、遅い速いを調節器で調節して、
丁度七十六回轉になるやうに合はせて下さい。

また、原文と引き合はせて讀む際、讀み易くするために、最初
は蓄音器の回轉數を六十五回轉位にしてやつて見るのも有益です
そして、數回やつてついてゆけるやうになつたら、次は七十回轉
位、それから最後は矢張七十六回轉にすれば、それが正しい音聲
であります。やつて御覽なさい。

Educational Records

Sir Walter Raleigh

ウォルター ローリ卿

(1) Queen Elizabeth ruled England more than three hundred years ago.

(1) 今から三百幾年前、エリザベス女王は英國を支配してゐた。

(2) There were many brave soldiers and sailors to serve her.

(2) 多くの勇敢な陸海軍人が彼女に仕へてゐた。

(3) Sir Walter Raleigh was the bravest of them.

(3) ウォルターローリ卿は彼等のうちでも最も勇ましい人だつた。

【註】 Sir Walter Raleigh (sə: /wɔ:lɔ ˈrɔ:li サ〜 ウォ・るタ ロ・ーリ) 〔固名〕 ウォーター ローリ卿。英國人、エリザベス女王の重臣。〔1552—1618〕。 Queen Elizabeth (kwi:n ɪlɪzəbeθ クウィーン イリ・ザベス) 〔固名〕 エリザベス女王。〔1533—1603〕 ruled (ru:lɪd ルー・るド) 〔動〕 支配した、治めた。 rule (ru:l ルー・る) の過去。 brave (breiv ブレイヴ) 〔形〕 勇ましい。 soldier (ˈsouldʒə ソ・ウるチャ) 〔名〕 陸軍軍人。 sailor (ˈseɪlə セ・

イラ) 〔名〕 海軍軍人。 sailer (ˈseɪlə セ・イラ) は帆船船(緩に注意) serve (sə:v サ〜ヴ) 〔動〕 仕へる。 soldiers and sailors to serve her(彼女に仕へる[ところの]陸海軍人)[to serve her は soldiers and sailors を形容した文句、to + 動詞は前の名詞又は代名詞を形容することがある] bravest (ˈbreɪvɪst ブレイヴィスト) 〔形〕 最も勇悍な。 [brave の最上級、一音節又は少数の二音節の形容詞の最上級は原級に -est をつける] the bravest of them

(4) One day when the Queen was taking a walk, she came to a muddy place in the road.

She stopped for a moment to see if she could walk on through it.

(5) At once Sir Walter Raleigh took his beautiful cloak from his shoulders.

(6) He spread it over the place for the Queen to walk on. After this Queen Elizabeth was very fond of him. She gave him a large piece of land in America.

(4) 或日女王が散歩してゐた時彼女は路の中のぬかるみのある所へ來た。

彼女は、そこを通つて歩くことが出来るか否かを見るために一寸立ち止まつた。

(5) ウォルター ローリ卿は直に彼の肩から彼の美しい上衣を脱いだ。

(6) 彼は女王が歩き続ける様にその場所へそれを擴げた。このことがあつてからエリザベス女王は大變彼が氣に入つた。彼女は亞米利加に於ける土地の大きな部分を彼に與へた。

(彼等のうちで最も勇ましい) **walk** (wɔ:k ウォーク) [名] 歩き、散歩。was taking a walk (散歩をしつゝあつた) **muddy** ('madi マ・ディ) [形] ぬかるみの。 **place** (pleis プれイス) [名] 場所。 **road** (roud ロウド) [名] 路。in the road (路の中の) **stopped** (stɒpt ストップ) [動] 止つた。 **moment** ('mou mənt モ・ウマント) [名] 瞬間。for a moment 一寸の間。 **if** (if イフ) [接] …かどうか。to see if… (…かどうかを見るために) **walk on** 歩き続ける (on は繼續の意を示す) **through** (θru: スルー) [前] …を通つて。 **at once** (ət wʌns アトワンズ) [副句] 直ちに。 **took** (tuk トゥック) [動] 取つた。 **take** (teik テイク) の過去 **beautiful** ('bjʊ:tɪfʊl

ビュ・ーティフル) [形] 美しい。 **cloak** (klaʊk クラウク) [名] 上衣。 **shoulder** ('ʃouldə ショ・ウルダ) [名] 肩。took his beautiful cloak from his shoulders (彼の美しい上衣を兩肩から脱いだ) **spread** (spred スプレッド) [動] 擴げた。〔此語は原形、過去、過去分詞共に同形〕。over the place for the Queen to walk on (女王が歩く様にその場所の上に) [overは…の上を覆ふの意] for…to+動詞で、for の後の語は動詞の意味上の主語。to walk onは(歩き続ける爲に) **fond** (fɒnd フォンド) [形] 好きの。was fond of him=liked him (彼が氣に入つた) **piece** (pi:s ピース) [名] 片、部分。a large piece of land(土地の大きな

(7) So he sent over some men in ships; for he wanted to see what kind of country it was.

(8) They found a warm and sunny land.

(9) The Indians came to the beach to see the pale faces. The white men gave them presents.

(10) They learned some things from the Indians. They learned how to smoke. Yes; the Indians were the first people to smoke tobacco.

(7) それで彼は数人の部下を船で遣はした、それは彼がその國は如何なる種類の國であるかを見度かつたからである。

(8) 彼等は温かいうららかな地を見出した。

(9) 土人達は青白い(彼等の)顔を見るために海濱へやつて來た白人達は彼等に贈り物を與へた

(10) 彼等は土人達から少しの事柄を學んだ。彼等は喫煙法を學んだ。然り、その土人達は煙草を吸ふ最初の民族であつた。

一區劃) sent over (sent 'ouvə セント オ・ウヴァ) [動] 遣はす。[over は「海を越えて」の意] some men (數人の部下) in ships (船にて、船に載せて) wanted ('wɒntɪd ウォンティド) [動] 欲した。kind (kaɪnd カインド) [名] 種類。he wanted to see what kind of country it was (彼はそれが如何なる種類の國であつたかを見度かつた) sunny ('sʌni サ・ニ) [形] 日當りよき、うららかな。warm and sunny land (温いうららかな地方) Indian ('ɪndjən インディアン) [名] 土人。beach (bi:tʃ ビーチ) [名]

濱邊。pale (peɪl ペイル) [形] 青白い。came to the beach to see the pale faces (青い顔を見るために濱邊に來た) the white men (白人達) gave (geɪv ゲイヴ) [動] 與へた。present ('preznt プレ・ズント) [名] 贈り物。learned (lɜ:nd ら〜ンド) [動] 學んだ。thing (θɪŋ スィン) [名] 物、事柄。smoke (smoʊk スモウク) [動] 煙草をすふ。how to smoke 喫煙の仕方。people (pi:pl ビープル) [名] 人々、民族 (the +)。tobacco (tə'bækou タバ・コウ) [名] 煙草。England

(11) And Sir Walter Raleigh was the first man in England who learned this strange habit.

(12) One day when his servant came into the room with a pitcher of water, he saw the smoke coming from his master's nose.

(13) The poor fellow was very much frightened at the sight. He thought that his master was on fire.

(11) して、ウォルター ローリ卿は此の見なれぬ習慣を學んだ英國の最初の人であつた。

(12) 或日、彼の召使が水の入つた水差を持つて彼の部屋へ這入つたとき、彼は煙が彼の主人の鼻から出てゐるのを見た。

(13) その憐れな男はそれを見て大へん驚いた。彼は彼の主人が燃えてゐると思つた。

(*'*inglənd イ・ングラント)〔固名〕英國。**strange** (*streindʒ* ストゥレインヂ)〔形〕未聞の、珍らしい。**habit** (*'*hæbit ハ・ビット)〔名〕習慣。the first man in England who learned this strange habit (此の未聞の習慣を學んだ英國最初の人)。**[who** 以下は the first man を形容する句]**servant** (*'*sə:vənt サ・ヴァント)〔名〕召使。**pitcher** (*'*pitʃə ピ・チャ)〔名〕水差。with the pitcher of water (水の入つた水差を持つて)**smoke** (*smu:k* スモウク)〔名〕煙。**master** (*'*mɑ:stə マ・ースタ)〔名〕主人。's は […の]。He saw

the smoke coming from his master's nose. (彼は彼の主人の鼻から煙が出てゐるのを見た) **poor fellow** (*pu:ə 'felou* プーア フェ・ロウ)〔名〕あはれな奴、(即ち)召使。**frightened** (*'*fraitnd フラ・イトゥンド)〔動〕驚いた。was frightened (驚かされた)〔日本語では『驚いた』といふのを英語では受身の形で『驚かされた』といふ事に注意) **sight** (*sait* サイト)〔名〕光景。at the sight (これを見て) was very much frightened at the sight (これを見て大變驚いた) **fire** (*'*faɪə ファ・イア)〔名〕火。on fire (燃えてゐる、

(4) So he quickly poured the water over Sir Walter Raleigh's head and cried in a loud voice, "Fire! Fire! Sir Walter has studied till his head is on fire!"

(4) そこで彼は急いでウォルター・ローリー卿の頭から水を浴せて、高い聲で叫んだ、「火事だ！火事だ！ウォルター卿は彼の頭が火事になる迄勉強してゐるのだ！」

火災を起してゐる) quickly (kwikli クイ・クリ) [副] 早く、手早く。 poured (pɔ:d ホード) [動] 注いだ。 [poured over の over は『溢れる』意] cried (kraid クライド) [動] 叫んだ。 cry (krai クライ) の過去 [子音+y で終る動詞を過去形にするには y を i に變へて -ed をつける] loud (laud ラウド) [形] 聲高い、voice (vois ヴォイス) [名]

聲。 in a loud voice (聲高に) till (til ティル) [接] …まで。 till his head is on fire (彼の頭が火事になるまで) studied (stadid スタ・ディド) [動] 勉強した。 study (s'tadi スタ・ディ) の過去分詞。 [has studied 勉強した。 study の現在完了形で『さつきから勉強を續けて來た』の意]。

昭和十一年三月一日印刷
昭和十一年三月十日發行

INOUE'S ENGLISH CORRESPONDENCE COURSE

第二學期第六號附錄

3—A

Educational



Records

William Tell

(1) The people of Switzerland have always loved freedom. They never wished to have a king or a ruler except from their own people.

(2) Long, long ago the king of another country sent a man named Gessler into Switzerland. Gessler was to rule the people and hold them subject to his king.

ウィリアム テル

(1) スイスの國民は始終自由を愛して來た。彼等は彼等自身の國民から出たものでない王即ち統治者を持つことを、欲したことがなかつた。

(2) ずつと以前のこと、も一つの國の王様が、ゲスラーといふ人をスイス國へ遣はした。ゲスラーは此の國民を支配し彼等を彼の王様に従はしておくことになつてゐた。

【註】 William Tell (ˈwɪljəm tel ウィリアム テル) 〔固名〕傳説に在るスイスの勇士。 Switzerland (ˈswɪtsələnd スウィツァーランド) 〔固名〕 スイス國。 always (ˈɔːlweɪz オールウエイズ) 〔副〕常に。 freedom (ˈfriːdəm フリーダム) 〔名〕自由。 have always loved freedom (以前からずつと自由を愛して來た)。 [have loved は現在完了形で以前から今迄の動作の繼續] ruler (ˈruːlə ルーラー) 〔名〕支配者。 except (ɪkˈsept イクセプト) 〔前〕…を除いて、…以外の。 own (oun オウン) 〔形〕自身の、固有の。 except

from their own people (彼等自身の國民から出たものを除いて) another country (他の一國) sent (sent セント) 〔動〕送つた。 [send (send センド) の過去] send—into… (—を…に送る) named (neɪmd ネイムド) 〔動〕…と名づけられたる。 name (neɪm ネイム) の過去分詞。 Gessler (ˈgeslə ゲスラー) 〔固名〕人名。 hold (hould ホウド) 〔動〕保つ、(…して)置く。 subject (ˈsəbdʒekt サブヂェクト) 〔形〕…に従つて(+to)。 hold them subject to his king (彼等を彼の王に従はせて置く) was to rule

(1)

井上英語教育
レコードテキスト

東京市
印刷
編輯
發行人

柴山格太郎

東京市
發行所
井上通信英語學校

(3) In the market-place of a certain town he set up a tall pole. On the top of the pole he put a hat. "This," he said, "is the sign of the king. Every man who passes must uncover his head and bow to the king's hat."

(4) One day William Tell, a very brave man, and his little son came into the market-place. He walked by the hat and did not bow to it.

(5) The king's soldiers seized him and took him to Gessler.

(6) "Why did you not bow before the king's hat?" asked Gessler.

(7) "Your king is not my king," answered Tell. "I will

(3) ある町の市場に、彼は高い柱を建てた。その柱の頂上に帽子を載せた。『これは王様の印(シルシ)だ。通る人は誰れでも帽子を取り、王様の帽子に頭を下げねばならぬぞ』と言った。

(4) 或日、非常に勇ましいウィリアムテルと彼の幼い息子とがその市場へと出た。彼はその帽子のそばを通り乍らそれに頭を下げなかつた。

(5) 王の兵士は彼を捉へてゲスラーの所へつれて行つた。

(6) 『何故お前は王様の帽子の前で頭を下げぬのだ』とゲスラーは尋ねた。

(7) 『あなたの王様は私の王様ではないですよ。私は彼の前や

(支配する筈だつた、支配することになつてゐた) **market-place** (ˈmɑːkɪtpleɪs マーケットプレイス) [名] 市場。 **certain** (ˈseɪtən サ・ヘトーン) [形] 或る。 **town** (taʊn タウン) [名] 町。 **set** (set セット) [動] 置いた。〔此の語は現在、過去、過去分詞とも同形〕 **set up** 建てた。 **pole** (pəʊl ポウル) [名] 柱。 **sign** (saɪn サイン) [名] 印(シルシ) **uncover** (ʌnˈkʌvə アンカ・ヴァ) [名] 脱ぐ。 **uncover his head** (彼の頭にあるものを脱ぐ) **bow** (baʊ バウ) [動] 敬禮する。 **Every man who passes must uncover his head and bow**

to the king's hat. (過ぎ行く人は誰でも彼の帽子を脱いで王の帽子に敬禮しなければならぬ) **William Tell**, a very brave man. (非常に勇氣ある人たるウィリアムテル) **son** (sʌn サン) [名] 息子。 **walk** (wɔːk ウォーク) [動] …の側を歩く(+by) **seized** (sɪzd スィーズド) [動] 捕へた、逮捕した。 **take** (teɪk テイク) → to … (…を…につれて行く) **took** (tʊk トック) は過去。 **Why did you not bow before the king's hat?** (何故汝は王の帽子に敬禮をしなかつたか) **ask** (ɑːsk アースク) [動] 尋ねる。 **answer** (ˈɑːnsə ア・

not bow before him or his hat."

(8) "Very well," replied Gessler; "You shall die. But wait, I hear you shoot well with the bow. I will put an apple on your son's head. If you can stand one hundred paces from him and shoot the apple from his head, you shall be free. But if you miss the apple, both you and your son shall die."

(9) "I will die first," said Tell. "I will not shoot at the apple. I might kill my son."

(10) "O father!" cried the little boy; "You must shoot. You will not miss the apple. I am not afraid. I know you will not hit me."

(11) They placed the boy a hundred paces from his father, with the apple on his

彼の帽子の前で頭を下げたくないのです。』テルは答へた。

(8) 『ぢやよし、殺して失ふぞ、一寸待て。お前は弓をよく射る相だね。お前の息子の頭の上に林檎を載せよう。その子供から百歩離れて立ち、彼の頭から林檎を射離すなら、免してやらう。しかしお前が射損つたら、お前もその子も殺して失ふぞ。』

(9) 『私はいつそ殺されよう。私は林檎を射まい、射れば私は此子を殺して失ふだらう』とテルは言つた。

(10) 『ア、お父さん、是非射て下さい。お父さんは決して林檎を射損ひはしませぬ、私は恐くはありません。あなたは決して私に中てないことを知つてゐる。』と幼い少年が叫んだ。

(11) 人々はその少年を父から百歩離して立たせ彼の頭の上に一つの林檎をのせた。テルは彼の肩から大弓を取り、矢を撰んだ。

ーンサ) [動] 答へる。very well (それぢやいい) You shall die. (汝を殺してやらう) [you に shall が付くさ『汝を…してやらう』となる] I hear (…だと聞いてゐる、だ相だね) shoot (ʃu:t シュート) [動] 射る。bow (bou ボウ) 弓。『敬禮する』といふ字の bow (bau バウ) と發音の差違に注意せよ) You shoot well with the bow. (汝は弓をもつて上手に射る) さは『汝は弓が上手だ』。I will put (置かう) [I に will がついたときは自分の意志を表す] hundred (ˈhʌndrəd ハンドゥラッド) [形] 百の。pace (peis ベイス) 歩。stand one hundred

paces from him (彼から百歩離れて立つ) free (fri: フリー) [形] 自由に。You shall be free. (汝を自由ならしめよう。汝を許るしてやるぞ) miss (mis ミス) [動] 射損ふ。both (bouθ ボウズ) …and … (…も…も共に) first (fɔ:st フェースト) [副] 先づ、寧ろ…まじだ。shoot at… (…を狙つて射る) might (maɪt マイト) [助動] そしたら[假定] …かも知れぬ。kill (kil キル) [動] 殺す。cry (krai クライ) [動] 叫ぶ。(過去になる時は cried) hit (hit ヒット) 射る、中(ア)てる。place (pleis プレイス) [動] 置く with the apple on his head (その

head. Tell took the great bow from his shoulder and chose an arrow. He waited a moment to stop the trembling of his hand. Then he drew the bow. The arrow flew straight from the string. It cut in two pieces the apple on the boy's head.

(12) With a cry of joy, Tell's son ran to him. "I knew you could do it, father," he cried. "No other man in all Switzerland shoots so well."

(13) Even the cruel Gessler smiled. He saw another arrow under Tell's coat. "But what is your second arrow for?" he asked.

(14) "To shoot you, had I killed my son," was the answer.

彼は彼の手のわななきを止めるために一寸待った。それから彼は弓を引いた。矢は弦から真直ぐに飛んだ。それは少年の頭の上の林檎を二つに割った。

(12) 喜ばしい叫聲を立ててテルの息子は彼の所へ走った。「お父さん、あなたがそれをなすことが出来ることは私には解つてゐたのです。全スキス國に於てそんなに上手に射る人は外にありません。」と彼は叫んだ。

(13) 残忍なるゲッスラーさへも微笑した。彼は他の一本の矢がテルの上衣の下にあるのを見た。「だがお前の第二の矢は何の爲めに持つてゐたのか」と彼は問ふた。

(14) 「私の息子を殺したら、貴方を射ようと思つて」といふのがその答へであつた。

林檎を彼〔少年〕の頭の上に載せて。 **shoulder** (ʃouldə ショ・ウルダ) [名] 肩。 **chose** (tʃouz チョウズ) [動] 選んだ。 **choose** (tʃu:z チューズ) の過去。 **arrow** (ə'rou アロ・ウ) [名] 矢。 **wait** (weit ウェイト) [動] 待つ。 **moment** ('moumənt モ・ウマント) [名] 瞬間。 **waited a moment** (一寸待った) **stop** (stɒp ストップ) [動] 止める。 **trembling** ('tremblɪŋ トゥレ・ンブリング) [名] 震え。 **drew** (dru: ドゥルー) [動] 引いた。 **draw** (drou ドゥロー) の過去。 **flew** (flu: フルー) [動] 飛んだ。 **fly** (flai フライ) の過去。 **straight** (streɪt ストゥレイト) [副] 真直ぐに。 **string** (striːp ストゥリッング) [名] 弦。 **cut** (kʌt カット) [動] 割る、切る。 **it cut in two pieces the apple** (それ〔矢〕はその林檎を二

つに割った) **joy** (dʒɔɪ ジョイ) [名] 歡喜。 **with a cry of joy** (歡喜の叫び聲を擧げて) **ran to...** (...に向つて走った) **ran** (ræn ラン) は **run** (rʌn ラン) [動] 走る。の過去 **no other man** (他の誰も...でない) **No other man in all Switzerland shoots so well.** (それ程〔貴方程〕よく射る人はスキス國中誰一人として居ません) **even** ('i:vən イ・ーヴン) [副] さへ。 **cruel** ('kruəl クル・アール) [形] 残忍な。 **smile** (smaɪl スマイル) [動] 微笑する。 **What is your second arrow for?** (汝の第二の矢は何の爲ののか) **To shoot you = I have it to shoot you.** (あなたを射るために持つてゐる) **had I killed my son = if I had killed my son** (私の息子を殺して失つたら)

Educational Records

A Night With A Wolf

(1) Come here, my little child, and sit on my knee, and I will tell you a story.

(2) Hark! how the rain is pouring on the roof, and beating against the windows! Out of doors, the night is black, and the wind is roaring through the trees.

(3) On just such a night as this, father was lost upon a

狼と明かした一夜

(1) いらつしやい、坊や、私の膝の上にお坐り。お話をしてあげませう。

(2) アレ、何とひどく雨が屋根に降り注ぎ、窓に打ち附けてゐることです。戸の外は夜で真暗です、そして風が木々の間を唸り通つてゐますよ。

(3) 丁度こんな夜にお父さんは淋しい山の上で迷つた。藪の中

【註】 **night** (nait ナイト) [名] 夜。 **wolf** (wulf ウルフ) [名] 狼。 a night with a wolf (狼と居た夜) come here は命令文で『此處に來い』 **child** (tʃaɪld チャイルド) [名] 子供。 my little child 坊や さいふ呼掛 **sit** (sit スィット) [動] …に腰を下ろす。 **knee** (ni: ニー) [名] 膝。 sit on my knee も命令形。 **story** (ˈstɔ:ri ストーリー) [名] 物語。 and は命令文の後に來る時は『そうすれば』となる。 **tell** (tel テル) [動] 話す。 **hark** (hɑ:k ハーク) [動] 聴け、アレ。 **how** (hau ハウ) [副] 何と。 **rain** (rein レイ

ン) [名] 雨。 **pour** (pɔ: ホー) [動] 注ぐ。 **roof** (ru:f ルーフ) [名] 屋根。 **beat** (bi:t ビート) [動] 打ち叩く。 [此の語の過去も beat] beat against… (…を打つけて打ちつける) **window** (ˈwɪndəu ウィンドウ) [名] 窓。 out of the doors 戸の外は。 **black** (blæk ブラック) [形] 黒い。 暗い。 **wind** (wind ウィンド) [名] 風。 **roar** (rɔ: ロー) [動] 唸る、吠える。 **through** (θru: スルー) [前] 通つて。 **tree** (tri: トゥリー) [名] 木。 **just** (dʒʌst ジャスト) [副] 丁度。 **such…as** (一様なこうじた…) **lost** (lɔ:st ろ

lonely mountain. There were bears in the bushes, and wolves in the deep woods; and I had lost my path and did not know which way to go.

(4) The night came on, and with it came just such a storm as this. The heavy rain beat on the ground; the strong wind rushed through the forest; it broke off many a tall, stiff tree, and bent the rest like grass.

(5) I crept along in the dark-

には熊が居り、深林の中には狼が居た。そして私は道を迷ひ、どの道を行けばよいか解りませんでした。

(4) 夜が来ました、そしてそれと共に今晚の様な嵐になりました。ひどい雨が地上を叩き、強い風は森の間をつき進んで来ました。それは丈高い頑丈な木を何本ももぎ取り、その他の木々を草の様に曲がらしました。

(5) 私はかくれ場所をさがさう

ースト)〔動〕失ふ、迷つた。lose (lu:z るーズ)の過去分詞。lonely (ˈlʌnli る・ウンリ)〔形〕淋しい。bear (beə ベア)〔名〕熊。bush (bʊʃ ブッシュ)〔名〕叢、藪。wolves (wʊlvz ウルヴズ)は wolf (狼)の複数形。deep (di:p ディープ)〔形〕深い。wood (wʊd ウッド)〔名〕森。〔複数も同意〕wolves in the deep woodsの前に there were を補つて譯す。I have lost my path. (私の道を見失つた、迷つた) Which way to go. (どちらの道に行くべきか) The night came on. (だんだん夜になつて来た) storm (stɔ:m ストーム)〔名〕嵐。with it=with the night (夜と共に) heavy (ˈhevi へヴィ)〔形〕ひどい。ground

(graʊnd グラウンド)〔名〕地。strong (strɒŋ ストロング)〔形〕強い。rush (rʌʃ ラッシュ)〔動〕突進する。forest (ˈfɔ:rist フォーリスト)〔名〕森。broke (brʊk ブローク)〔動〕折つた。break (breik ブレイク)の過去。broke off もぎ取つた。stiff (stif スティフ)〔形〕頑丈な。bent (bent ベント)〔動〕曲げた。〔bendの過去〕rest (rest レスト)〔名〕残部。like (laɪk ライク)〔前〕の様に。grass (grɑ:s グラス)〔名〕草。crept (krept クレプト)〔動〕這つた。creep (kri:p クリープ)の過去。crept along (這つて行つた) darkness (ˈdʌ:knɪs ダークネス)

ness, trying to find some place of shelter; but I stumbled against the trees, and fell over stones.

(6) At last, by the help of the lightning, I found a little cave in the side of a great rock. I crept in, glad to be safe from the falling timber and the flashing lightning.

(7) Soon I heard something creep into the cave; and then I saw two green eyes shining in the dark, and a wolf lay down beside me.

として、闇の中を這つて行きました。が木に躓いて石の上に轉びました。

(6) 終に稲妻の御蔭で大きな巖の脇の小さな洞穴を見出しました。その内は木が落ちたり、稲妻が光つたりすることはなく、安全なので喜んで私は這入りしました。

(7) 間もなくその洞穴の中へ何か這込んで来る音が聞えましたとその途端闇の中に緑色をした眼が二つ光つてゐるのが見え、一匹の狼が私のそばに横つてゐました。

〔名〕 闇。try (traɪ トライ)〔動〕 試みる。trying (試みながら) find (faɪnd ファインド)〔動〕 見出す。place (pleɪs プレイス)〔名〕 場所。shelter (ˈʃeltə シェルター)〔名〕 隠れ。stumble (ˈstʌmbl スタンプル)〔動〕 …に躓く (+against) fell (fel フェル)〔動〕 倒れた。fall (fɔ:l フォール)の過去。stone (stoun ストウン)〔名〕 石。fell over stones (石の上に倒れた) at last (終に)。help (help ヘルプ)〔名〕 助。by the help of …のお蔭で。lightning (ˈlaɪtnɪŋ ライトニング)〔名〕 稲妻。cave (keɪv ケイヴ)〔名〕 洞穴。great (greɪt グレイト)〔形〕 大きな。rock (rɒk ロック)〔名〕 巖。side (saɪd サイド)〔名〕 側。glad (glad グラッド)〔形〕 喜ぶ。I crept in, glad to …=I crept in, being glad to…

(…を喜びながら這入つた) safe (seɪf セイフ)〔形〕 安全な。to be safe from… (…から無事であることを) (…で負傷しなかつたことを) timber (ˈtɪmbə ティンバ)〔名〕 木。flashing (ˈflæʃɪŋ フラッシュ)〔動形〕 閃ける。soon (su:n スーン)〔副〕 直ぐに。heard (hɜ:d ハード)〔動〕 聞いた。hear (hɪə ヒア)の過去。something (ˈsʌmθɪŋ サムスィン)〔名〕 或るもの。I heard something creep into the cave. (洞穴へ何か這入つて来る(音)を聞いた) green (ɡri:n グリーン)〔形〕 緑色の。shining (ˈʃaɪnɪŋ シャイニング)〔動〕 輝いてゐる。I saw two green eyes shining. (二つの緑色をした眼が輝いてゐるのを見た) lay (leɪ レイ)〔動〕 横つた。lie (laɪ ライ)の過去。beside (biːsaɪd ビサイド)〔前〕 側に。frighten

(8) Do not be frightened, little one. The wolf and I lay there side by side all that long, dark night.

(9) The rain rushed, the wind roared, the thunder rattled, and the great rock shook in the storm; but in that little cave the wolf and I lay side by side. I felt his wet fur press against me, and we each of us warmed the other.

(10) When the morning came, the wolf crept out and went his way into the wild, wet woods; and I crept out and found a path, and went on my way down the mountain.

(*fraɪn* フラ・イトゥン)〔動〕驚かす。Do not be frightened(驚くな) little one(小さなものよ、子供よ) side by side 相並んで。all that long, dark night(長い暗いその夜中) thunder (*ˈʌndə* さ・ンダ)〔名〕雷。rattle (*ˈrætl* ラ・トゥル)〔動〕雷が鳴る。shook (*ʃuk* シュ・ック)〔動〕震へた。shake (*ʃeɪk* シ・ェイク)の過去。felt (*felt* フェル・ト)〔動〕感じた。feel (*fi:l* フィー・ル)の過去。wet (*wet* ウェット)〔形〕濡れた。

(8) 坊や、驚くぢやないよ。その狼と私は相並んで、その長い暗い一夜をそこで寝明したのです

(9) 雨は進撃し、風はうなり、雷はゴロゴロと鳴り、そしてその大きな巖は嵐の中に震へてゐた。しかしその小さな洞穴の中には、狼と私が相並んで横はつてゐた。私は彼の濡れた毛が私の身にしっかりと接してゐるのを感じました。かくして私達はお互に温め合ひました。

(10) 朝が来てその狼は這ひ出し荒れた湿つぽい森の中へと去つて行つた。私もそこを這ひ出し小徑を見出した、そしてすんすん山を降りたのであります。

濡れた。fur (*fə:* ファー)〔名〕毛皮。press (*pres* プレス)〔動〕押し合ふ。I felt his wet fur press against me. (彼の濡れた毛が私にくっ付いてゐるのを感じた) warm (*wɔ:m* ウォーム)〔動〕温める。We each of us warmed the other. (我々の各々が他を温めた、お互に温め合つた) went his way (去つた) wild (*waiлд* ワイルド)〔形〕野生の。mountain (*ˈmaʊntɪn* マ・ウンティン)〔名〕山。

INOUE'S ENGLISH CORRESPONDENCE COURSE

第二學期第十二號附錄

4—A

Educational Records

A Brave Deed

① "He must die! Baber must die!" muttered a tall, dark Indian soldier, as he walked moodily along the banks of the river toward the city of Delhi.

And who was Baber? He was a great Tartar warrior, who had crossed the snow-clad Himalaya with his army and had conquered India.

勇ましき行爲

① 「あいつをきつと殺してやる、ペーバを必ず殺してやる。」
河の岸に沿つてデリーの町の方へ鬱々と歩き乍ら、丈高い色の黒い印度兵はつぶやいた。

してペーバとは誰か。彼は偉大なる韃靼の戦士で、彼の兵を連れて雪覆へるヒマラヤを越え印度を征服したのであつた。

【註】 brave (breiv ブレイヴ)〔形〕勇まし。 deed (di:d ディード)〔名〕行爲。 He must die. (あいつを殺してやるぞ) Baber ('bei:bə ベーイバ)〔固名〕人名。 mutter ('matə マ・タ)〔動〕つぶやく。 Indian ('indjən イ・ンディアン)〔形〕印度の。 as he walked (歩き乍ら) moodily ('mu:dili ム・ーディリ)〔副〕鬱々。 bank (bæŋk バンク)〔名〕岸。 along the banks (岸に沿つて)

toward (tə:d トード)〔前〕…の方へ。 Delhi ('deli デ・リ)〔固名〕印度テリ洲の首都。 Tartar ('tɑ:tə ター・タ)〔形〕韃靼人の。 warrior ('wɔ:riə ウォーリア)〔名〕戦士、武士。 snow-clad ('snoukləd スノ・ウクラッド)〔形〕雪の覆へる。 Himalaya (hi'mu:ləjə ヒマ・ーラヤ)〔固名〕ヒマラヤ山。 army ('ɑ:mi アーミ)〔名〕軍隊。 conquer ('kɔŋkə コンカ)〔動〕征服する。

(1)

昭和十一年十月一日印刷
昭和十一年十月十日發行

井上英語教育
レコードデキスト

東京市麹町區富士見町三ノ三
編輯者 柴山格太郎

柴山格太郎

發行所 井上通信英語學校

(2) The soldier was one of the Hindu race that Baber had conquered. He hid a dagger under his robe, and went to the city to seek for the emperor; and as he went, he muttered, "Baber must die! Baber must die!"

(3) Suddenly, the people in the street in which he walks are thrown into a state of wild terror. In a fit of rage, an elephant has broken loose from one of the great bazaars of the city, and is tearing along the streets with eyes gleaming and trunk tossed high the air.

(2) その兵はベーバが征服したヒンズー族の一人であつた。

彼は懐剣を彼の法服の下にかくして、その皇帝をさすり求めてその町へ行つた。そして彼は歩き乍ら『ベーバをきつと殺してやる。ベーバをきつとやつつけろぞ』とつぶやいた。

(3) 突然彼が歩いて行く街路に居た人々が、大變ひどく驚き騒ぐ。腹立ちまぎれに一匹の象が、その町の一つの大陳列場から逃走し、そして目を光らし、鼻を空中高く振り上げて、その通りを疾走して来る所である。

Hindu (/hindu: ヒ・ンドゥー) [固名] ヒンズー人。 **race** (reis レイス) [名] 族。 one of the Hindu race that Baber had conquered (ベーバが征服したヒンズー族の一人) **hid** (hid ヒッド) [動] かくした。 **hide** (haid ハイド) の過去。 **dagger** (/daɪə ダーガ) [名] 懐剣。 **robe** (roub ロウブ) [名] 法服。 **seek** (si:k スィーク) [動] もとめる。…を求める(+for…) **emperor** (/empero エンペラ) [名] 皇帝。 **suddenly** (/sadni サ・ドゥンリ) [副] 突然。 **thrown** (broun スロウン) は **throw** (θrou スロウ) [動] 投げる、の過去分詞。 **state** (steit ステイト) [名] 状態。 **wild** (waild ワイルド) [形] 狂気の。 **terror** (/terə テ・ラ) [名] 恐怖。 The

people in the street in which he walks. (彼が歩いてゐる所の道の中の人々) are thrown into a state of wild terror (ひどく驚き出す) **fit** (fit フィット) [名] 発作。 **rage** (reidz レイチ) [名] 憤怒。 in a fit of rage (腹立ちまぎれに) **elephant** (/elifənt エ・リファント) [名] 象。 **loose** (lu:s ルース) [副] しまりなく。 to break loose (拘禁から逃れる) **bazaar** (/bazu: バザー) [名] 物品陳列場。 **tear** (təə テア) [動] 疾走する。 **gleam** (gli:m グリーム) [動] 光る。 with eyes gleaming (光れる眼をして) **trunk** (trɒŋk トゥラング) [名] (象の) 鼻。 **toss** (tɔ:s トース) [動] 投げる、高く飛ばす。 with trunk tossed high in air (鼻を空中高く振りあげ

(2)

The people flee before him—men, women and children shrieking with terror.

(4) In the wild confusion a little child falls in the middle of a narrow street, right in the elephant's way. In another moment it will be crushed to death. Will no one save the child? No; it is the child of an outcast. It were a disgrace to touch the outcast child.

(5) A man suddenly steps forth to the middle of the way, lifts the child, and springs back just in time to

人々はそれに追はれて逃げて来る——怖れて叫び乍ら男も女もまた子供も。

(4) ひどい雑沓の中に一人の小さな子供が、せまい道のまん中に、丁度象のやつて来る道の中に倒れる。直ぐにもその子は押し殺されるだらう。誰れもその子を助けるものは無いか。否、それは追放人の子であつた、追放人の子に觸れることは恥辱であるのだらう。

(5) 一人の男が突然その道の真中に歩み出て、その子をかゝえて飛び退き、間一髪で象の鼻で

て) **flee** (fli: フリー) [動] 逃げる。flee before... (恐れて)...から逃げる。 **shriek** (ʃri:k シュリーク) [動] 叫ぶ。 **confusion** (kən'fju:ʒən カンフュージョン) [名] 混雑。in the wild confusion (ひどい混雑の中で) **narrow** ('nærou ナ・ロウ) [形] せまい。right in the elephant's way (丁度象がやつて来る所に) in another moment (直ぐに) **crush** (kraʃ クラッシュ) [動] 押す。crush to death (押し殺す) **save** (seiv セイヴ) [動] 救ふ。Will no one save the child? (その子供を誰れ一人さして救はうとし

ないか) (one は人の意) **outcast** ('autkɑ:st ア・ウトカースト) [名] 追放人。it were=it would be (此の were は古い形) **disgrace** (dis'greis ディスグレ・イス) [名] 恥辱。 **touch** (tatʃ タッチ) [動] 觸れる。it were a disgrace to touch the outcast child (追放人の子供に觸れてもしたら、それは恥辱になるのだ) **step** (step ステップ) [動] 踏む。step forth (歩み出る) **lift** (lift リフト) [動] かゝへ上げる。 **spring** (sprɪŋ スプリング) [動] 飛ぶ。spring back (飛び退く) just in time to... (...するのに遅れ

avoid the sweep of the elephant's trunk.

He is a tall, handsome man, in a common working man's attire. As he deposits his charge close to the soldier his turban slips off, and the soldier recognises in him Baber—the emperor, the man he has come to kill!

(6) In a moment the soldier places himself before the emperor, kneels at his feet, and holds out to him the dagger he had concealed under his robe.

す丁度よいさき) avoid (ə'void ア
ヴ・イド) 〔動〕 さげる。 sweep
(swi:p スウィープ) 〔名〕 薙ぎ。
handsome ('hænsəm ハ・ンサム)
〔形〕 美しい。 common ('kɒmən
コ・マン) 〔形〕 普通の。 working
man (職人) attire (ə'taɪə アタ
イア) 〔名〕 衣服。 in a common
working man's attire 普通の労働
者の衣服を着た) [in は「着物を着
てゐる」といふ際の前置詞] de-
posit (di'pɒzɪt ディ・ポジット) 〔動〕
置く。 charge (tʃɑ:dʒ チャージ)
〔名〕 荷(即ち子供) close (klaʊs

薙ぎ倒されるのを避ける。

彼は普通の職人の衣服を着た
丈高い美男子である。彼が自分
の荷をその兵士のそばに置いた
刹那、彼の頭帕布がすべり落ち
る、してその兵士が見るとその
男はバーバである——皇帝即ち
彼が殺すためにやつて来た人で
ある。

(6) 直ちにその兵士は 皇帝の前
に行き脚下に膝まづき、法服の
下にかくし持った懐剣を出す。

クろウス) 〔形〕 に近い(+to)。 tur-
ban ('tə:bən タ・バン) 〔名〕 回
回教國人の頭に巻きつけた布。 slip
(slɪp スリップ) 〔動〕 すべる、すべ
り落ちる(+off) recognise ('re
kəɡnaɪz レ・カグナイズ) 〔他〕 見知
る。 recognise in him Baber (彼を
見るにバーバである) the emperor,
the man he has come to kill (皇
帝即ち彼が殺しに来た男) in a
moment (直ちに) kneel (ni:l ニ
ーる) 〔動〕 ひざまづく。 hold out
(取り出す) conceal (kən'si:l カ
ンスイ・ーる) 〔動〕 かくす。 sire

"Take this, sire," he says, "and kill him who sought thy life. I came here to-day to kill thee; but to save life is greater than to destroy it."

⑦ The emperor's surprise gives place to a pleased smile. Stretching forth his hand, he raises the soldier from the ground, and says:—

"Truly hast thou said, my brother, that to save life is greater than to destroy it. I take the life thou hast offered me; but thou shalt spend it henceforth in my service. From this day I make thee one of my palace body-guard."

「陛下、これを取つて陛下の御命を求めて居りました奴を殺し給へ。私は今日陛下を殺さんと茲へ來たのです、しかしお助けすることは殺すよりもつと立派なことで御座います」

⑦ 皇帝の驚きは、嬉しい微笑に代つた。手を延してその兵士を地から立たせて、かう云つた。

「兄弟よ、生命を助けることはそれを殺すことよりも立派なことだとはよくも言つた。わしは其方が余に献げた命を貰ふ、しかし其方はこれ以後私に仕へるためにそれを費せ。今日から儂は其方を我が宮殿の護衛兵の一人としよう」

(/saɪəサ・イア) 陛下(呼掛) sought (sɔ:t ソート) (動) 捜した。seek (sɪ:k スィーク) の過去。thy (ðai ゴイ) (形)=your. kill him who sought thy life (貴下を殺さうとした奴を殺せ) thee (ði: ティー) (代)=you 汝を。destroy (dis'trɔɪ デイストロ・イ) (動) (破すの意より) 殺す。surprise (sə'praɪz サブラ・イズ) (名) 驚き。give place to... (變る) pleased (pli:zd プリーズド) (形) うれしき。smile (smaɪl スマイル) (名) 微笑。stretch (stret ストレッチ) (動) のびす forth (fɔ:θ フォー) (副) 前へ。

stretching forth his hand (彼の手を伸して) raise (reɪz レイズ) (動) 起す、立たせる。thou (ðau ゴウ) (代)=you 汝は。hast thou=have you. the life thou hast offered me (汝が私に献げた命) shalt (ʃælt シャー) (助動)=shall. (thou には shalt と續く) henceforth (/hens fɔ:θ ヘ・ンス フォー) (副) 今後。service ('sɜ:vɪs サ・ヴィス) (名) 奉仕。palace ('pælɪs パ・リス) (名) 宮殿。body-guard ('bɒdɪɡɑ:d ボ・ディ・ガード) (名) 近衛兵。



本レコード英文著作者

井上十吉先生

本レコードに使用された英文は
我國英學界の父、井上十吉先生御
著作の『井上英語講義録』及び中
等教科書『井上英語新讀本』(Ino-
ue's New English Readers) 及
び『井上英語補助讀本』(Inoue's
Supplementary English Readers)
中にあります。



本レコード吹込者

Andrew F. Thomas 先生
M. A. (Oxon) M. R. S. T.

本レコード吹込者は、東京文理
科大學及び東京高等師範學校教授
兼法政大學講師である アンドリュ
ー・エフ・トマス先生であります。
先生は純英國人で、井上通信英語
學校校長井上當藏先生と同じく英
國オックスフォード大學御出身で
あります。その溫雅圓満なる人格
と共に、その發音は極めて正しく
殊に『子音』の明瞭な事は他のレ
コードの及ぶ所ではありません。

【注意】 本レコードは、一分間に七十六回轉の速度で御掛け下さ
い(レコード袋には八十回轉とありますが)。正しく七十六回轉に
するには、最初蓄音器の圓盤の一箇所に白い紙を貼り、次に機械
を回轉し乍ら、時計の秒計とその白い紙とを見比べて、一分間に
何回白い紙が回轉したかを調べ、遅い速いを調節器で調節して、
丁度七十六回轉になるやうに合はせて下さい。

また、原文と引き合はせて讀む際、讀み易くするために、最初
は蓄音器の回轉數を六十五回轉位にしてやつて見るのも有益です
そして、數回やつてついてゆけるやうになつたら、次は七十回轉
位、それから最後は矢張七十六回轉にすれば、それが正しい音聲
であります。やつて御覽なさい。

Educational Records

Casabianca

By Mrs. Hemans

In the Battle of the Nile, which was fought between the French under Admiral Brueys and the English under Admiral Nelson on the 1st August, 1798, the French were completely defeated. Their admiral was killed, and his flagship *L'Orient* was blown up. When the vessel was abandoned by the French, the admiral's son, Casabianca, a young boy about thirteen

カサビアンカ

ヒーマンズ夫人作

ナイル河の合戦は千七百九十八年八月一日ブルーエ提督の率ゐる佛軍とネルソン提督の率ゐる英軍との間に戦はれたが、此の戦で佛蘭西軍は完全に敗北した。彼等の提督は殺され、彼等の旗艦ロリアン號は爆破されたその艦が佛軍から見放されたときその提督の息子のカサビアンカは約十三歳位の若い少年であ

【註】 *Casabianca* (kæsəbi'æŋkə カ:サビア・ンカ) 〔固名〕 本詩の主人公。 *Hemans* ('hi:mənz ヒ・ーマンズ) 〔固名〕 本詩作者。 *Nile* (nail ナイル) 〔固名〕 亞弗利加東部の河。 *admiral* ('ædmərəl ア・ドマラル) 〔名〕 海軍大將、提督。 *Brueys* ('bru:εアル・ーエ) 〔固名〕。 the French under Admiral Brueys

ブルーエ提督の率ゐられた佛軍。 *under* ('ʌndə ア・ンダ) 〔前〕 率ゐられた。 *Nelson* (nelnネン・スン) 〔固名〕。 *completely* (kəm'pli:tli カンプリ・ートリ) 〔副〕 完全に。 *defeat* (di'fi:t ディ・フィ・ート) 〔動〕 破る。 *flagship* ('flæɡʃip フラ・グシップ) 〔名〕 旗艦。 *L'Orient* ('lɔ:ʒo ろ・リオ) 〔固名〕 艦の名。 *abandon* (æbu:n'dən ア・バ・ンダ・ン) 〔動〕 見放す。 *remain*

years old, still remained at his post, until the fire reached the powder-magazine, which exploded and sank the ship.

- (1) The boy stood on the burning deck;
 Whence all but him had fled;
 The flame that lit the battle's wreck,
 Shone round him o'er the dead;
 Yet beautiful and bright he stood

つたが、火焰が火薬庫に達し、船が爆破されて沈んでしまふまで、彼の持場に留つてゐた。

- (1) その少年は燃えてゐる甲板に立つてゐた。
 そこから彼の外の凡てのものは逃げて失つてゐた燃えてゐる軍艦に輝いた火焰は
 彼の周りの死人の上を照らした。
 それでも彼は美しくも又元氣よく立つてゐた、

(ri'mein リメ・イン)〔動〕留る。
 post (poust ポウスト)〔名〕戦場持場。powder-magazine ('paudə mæɡə/zi:nパ・ウダマガズィーン)火薬庫。explode/ (iks/ploud イクスプルー・ウド)〔動〕爆破する。〔until 以下は、火が火薬庫に達したまで、そのときは船が爆破してこれを沈めた意〕(which は the fire reached the powder-magazine さいふ文章全体を受けた関係代名詞) burning ('bæ:nɪŋ バ・〜ニン)〔形〕燃えてゐる。deck (dek デック)〔名〕甲板。whence (wens ウェンス)〔副〕そこから。fled (fledフレッド)〔動〕逃れた。flee (fli: フリー)の過去

all but him had fled〔原文には all but he となつてゐるが but が前置詞だから茲では him を用ひた〕(彼〔少年即ちカサピアンカ〕以外のものは皆逃げ去つた。) flame (fleim フレィム)〔名〕火焰。battle ('bætl バ・トッル)〔名〕戦争。wreck (rek レック)〔名〕難波船。flame that lit the battle's wreck (戦闘のため破船になつた船に輝いた焰) shone round him o'er the dead=shone over the dead round him (彼の周囲の死人の上を照した) o'er=over。beautiful and bright he stood=he stood beautiful and bright (bright は火に映つた華やかさ元氣よくの

(2)

As born to rule the storm!

A creature of heroic blood,

A proud, though child-like form!

(2) The flames roll'd on—he would not go

Without his Father's word;

That Father, faint in death below,

His voice no longer heard.

He call'd: 'Say, father, say If yet my task is done!'

He knew not that the chieftain lay

Unconscious of his son.

恰もその嵐(戦)を支配するために生れた様に。

英雄の血を受けた少年、子供らしくはあるが堂々たる姿だ。

(2) 焔は渦まいて来たが、彼は去らうともしない、

彼の父の許可がなくては
その父は下で死に瀕してゐる。

彼の聲はもはや聞かれなかつた。

少年は叫んだ、知らせて下さい、父上よ、知らせて下さい、

もう私の仕事は終りましたかを。

彼は艦長が自分の息子の事は知らずに倒れてゐるとは知らなかつた。

二つの意にかけた語) **rule** (ru:l ルー) [動] 支配する。as born to rule the storm=as if he had been born to rule the storm (storm はこゝでは戦闘) rule the storm (戦の勝敗を掌中に握る) **creature** (kri:tʃə クリーチャー) [名] 生物(こゝではその子供) **heroic** (hi'rouik ヒロウイク) [形] 英雄的な。 **blood** (blad ブラッド) [名] 血。creature of heroic blood (英雄の血を受けた少年) **proud** (praud プラウド) [形] 堂々たる。(form を形容してゐる) **childlike** (tʃaild laik チャイルライク) [形] 子供らしい。 **form** (fɔ:m フォーム) [名] 姿。though childlike form=though he was of a childlike form (子供らしい姿であるが) [堂々たる

姿) [此の form は第五句 he の同格語] **roll'd** (rould ロウルド) [動]=rolled 轉がつた。roll on (焔か) 渦まいて来る) father's word 父の語(許可) he would not go without his father's word (父の許可がなくてはそこを去らうとしないのだ) **faint** (feint フェイント) [形] 力無き、氣が遠くなつて。faint in death (死に瀕して) [father の形容語] his voice no longer heard=heard his voice no longer (もはや息子の聲が聞えなかつた) yet (もう) is done (終つた) **chieftain** (tʃi:f tən チーフタン) [名] 艦長。unconscious (An'konʃəs アンコンシヤス) [形] 知らざる、無意識の。unconscious of... (…のことは知らずに) lay unconscious of his son

(3) 'Speak, father!' once again he cried,

'If I may yet be gone!
And but the booming
shots replied,

And fast the flames
roll'd on.

Upon his brow he felt
their breath,

And in his waving hair;
And look'd from that
lone post of death

In still, yet brave des-
pair;

(4) And shouted but once
more aloud,

'My father! must I
stay?'

(息子の事は念頭になくなつて倒れて居た) he knew 以下は、父が自分のことは念頭になくなつて倒れてゐることを子供は知らなかつた。once again (もう一度) if I may yet be gone! 私はもう去つてもよいかどうか、speak (云へ、知らして下さい) booming ('bu:mig プーミング) [形] 轟々たる。shot (ʃɒt ショット) [名] 弾丸。(此の前の but は only の意) fast (どしどし)。breath (breθ ブレツス) [名] 息。he felt their breath 彼等(焔)の息(ほてり)を感じた。waving ('weivɪŋ

(3) 「父上よ、話して下さい。」
彼はもう一度叫んだ。

「私はもう茲を去つてよいでせうか。」

すると轟く敵弾が答へたのみだ。

そして焔はどしどし渦巻いて來た。

彼は火のほてりを彼の額に
また彼の波立てる髪の中
にも感じた。

そして死ぬに極つたその心
細い持場からあたりを見た
静かではあるが勇ましい
絶望で。

(4) そして今 只一度大聲で叫んだ、

「父上よ、私は留つてゐねばなりませんか。」

ウェ・イ・ヴィング) [形] 波立てる。in his waving hair (彼の波立てる髪の中に(焔のほてりを感じた))。look'd=looked, lone=lonely 淋しい。that lone post of death (死さういふ淋しい持場、死ぬに極つた心細い持場) despair (dis'peə ディスベ・ア) [名] 絶望。in still, yet brave despair (静かではあるが勇ましい絶望であたりを見まはした[look'd]) and shouted but once ((彼は)ただ一度叫んだ。must I stay? (私はここに止まらねばなりませんか。))

(4)

While o'er him fast
through sail and shroud,
The wreathing fires
made way.

They wrapt the ship in
splendour wild,

They caught the flag
on high,

And stream'd above the
gallant child

Like banners in the
sky.

⑤ There came a burst of
thunder-sound—

The boy—O! where
was he?

—Ask of the winds that
far around

その間に彼の上を越えて帆
や支樁索を通つてどしどし
と巻き上る火の手は進ん
で来た。

火焰は船を物凄く眞赤に包
んだ。

火焰は樁上にある旗につ
いて、

この勇敢なる子供の上高く
流れた。

空中に翻へる旌旗の様
に。

⑥ 雷鳴の如き爆發が起つた、

その少年は、あい、彼は
何處に居たか、

風に問へ！その周り遠くま
で、

shroud (ʃraʊd シュラウド) [名] 支樁索。 **wreathing** (ˈriːðɪŋ リーシング) [形] 花環の如く巻き上る (煙又は焰)。 **while** o'er him fast through sail and shroud = while the wreathing fires made way fast through sail and shroud over him (その間に [while] 花環の如く巻き上つた火の手は少年の上を越えて、帆や支樁索の間をどしどし追つて来た) **wrapt** (ræpt ラップト) [動] 包んだ。 **wrap** (ræp ラップ) の過去。 **splendour** (ˈsplendə スプレンドア) [名] 光彩。 in splendour wild = in wild splendour (物凄く光彩で) they caught the flag on high (樁

の上にある [on high] 旗に火がついた) [they は前の行の they と同じく fires] **stream'd** = **streamed** (striːmd ストリームド) [動] 流れた、翻つた。 **gallant** (ˈɡælənt ギャラント) [形] 健氣なる、勇悍なる **banner** (ˈbænə バナ) [名] 旌旗。 **thunder** (ˈʌndə サ・ンダ) [名] 雷。 a burst of thunder-sound (雷鳴の如き爆發 [猛火が火薬庫に移つて艦が爆發して沈んだ音]) where was he (彼は何處にゐたか) ask of the winds = ask of the wind where he was 少年が何處に居たかは風にたづねよ。 far around (その舟の周圍遠くまで) **fragment**

With fragments strew'd
the sea,
With mast, and helm, and
pennon fair,
That well had borne
their part;
But the noblest thing
which perish'd there
Was that young faith-
ful heart!

艦の破片を海に撒き散ら
したる、
檣や舵機や美しい艦旗を海
に撒きちらした風に。
それ等はよく彼等の役目
を果たしたものであつた。
がしかしそこで亡んだうち
でも最も壯烈なものは、
あの若い忠實な心であつ
たのだ。

(fragment フラグメント) [名] 破片。strew'd=strewed (stru:d ストゥールド) (動) 撒き散らされて with fragments strew'd the sea (爆発のために粉碎された艦の破片を海にまき散らした風) helm (helm へるム) [名] 舵機。pennon (penən ベ・ナン) [名] 艦旗。with mast, and helm, and pennon fair (fragments を再説した語) (艦の破片即

ち檣や舵機や美しい艦旗 (を海にまき散らした) that well had borne their part (これは mast, helm, pennon を説明した句) それ等はそれ等の役目 (part) を果たした (had borne) perish'd (peri:st ベ・リシュト) (動) 亡びた。the noblest thing perished there そこで亡びたもののうちで最も壯烈なもの。

本詩の作者 Mrs. Felicia Dorothea Hemans は 1793 年に英國第一の海港 Liverpool (リ・ヴァーバー) に生れ 1835 年に死亡した女流詩人で多くの詩を作つたが本詩は同女史傑作の一つである。

1798 年ナポレオンの埃及遠征のとき護送して來た佛國艦隊の司令官はブルーエ提督で、埃及のナイル河口で奈翁の歸國を待つてゐた間に、この艦隊を追跡してゐた英國艦隊に発見された。その英軍の司令官はネルソン將軍であつた。八月一日戦端が開始された。激戦最中にブルーエ將軍は三回負傷して遂に死亡し、カサビアンカ大佐がその代理として司令官となり奮戦努めたがいつか旗艦に火災を起し炎々たる猛火が火薬庫に移つたため爆發し、旗艦 L'Orient は沈没したのである。此を見るやネルソンは端艇を出して救助につさめ同艦乗組員五百人中七十名を救助したといふ。此の海戦に佛艦隊は全敗し十三隻中無事に逃走し得たのは僅か二隻であつた。

Casabianca 大佐の子 Giacomo Casabianca は、其旗艦に同乗してゐたが、旗艦の沈没と共に溺死したと記録にあるが、海戦中此少年が何を爲てゐたかは別に記録されてゐない。是に依ると本詩に於て艦員が船を去つた後に只獨り甲板に残つてゐたと言ふのは作者 Hemans 女史の作である。

昭和十一年十月一日印刷
昭和十一年十月十日發行

INOUE'S ENGLISH CORRESPONDENCE COURSE

第三學期第六號附錄

5—A

Educational Records



A Boat Race

(1) This is the morning of the Great University race, about which every member of the two great Universities, and a very large section of the general public, have been fidgeting and talking for a month or so.

(2) The bridge is black, the lawns are black, every balcony and window in the town

端艇競漕

(1) 是は大學端艇競漕の朝である、そのため二大大學校の各人及び一般大衆の大半は、一ヶ月以上の期間に亘り、氣をもんだり、語つたりしてゐたのである。

(2) 橋は黒い、芝生は黒い、町の凡ての露臺、窓は黒い、蒸氣

【註】 boat (bout ボウト) 端艇、ボート。 race (reis レイス) 競争。 morning ('mɔ:nɪŋ モーニング) 朝。 Great University (greit ju:nɪvə:sɪti グレイト ユーニヴァーシティー) 偉大なる (great) 大學 (University) 〔about which (is) (which) に就いて (about)〕 which は前の the morning を受ける。 member ('membə メンバ) は〔組織體の一部分、一員、一人〕の意味であるが、ここは大學の學生、教授、役員、その他の人々を指す。 universities (ju:nɪvə:sɪtiz ユーニヴァーシティーズ) は university の複數。 a very large section of

the general public は直譯すると〔一般大衆 (the general public) の (of) 極めて大きい (very large) 部分 (section)〕で〔一般大衆の大半〕の意味。 fidget ('fɪdʒɪt フィヂト) と發音し、〔そはそはする〕〔氣を揉む〕〔くよくよする〕で、 have been fidgeting はその現在完了の進行形で、意味は〔氣を揉んでゐた (今も氣を揉んでゐる)〕 for a month or so は〔一ヶ月 (a month) 又はそれ位 (or so) の間 (for)〕で〔一ヶ月位の間〕と譯して良い。 bridge (brɪdʒ ブリッジ) 橋。 lawn (lɔ:n ローン) 芝生。 balcony ('bælkəni バルコニー) 露臺。 window ('wɪn

(1)

井上英語教育
レコードテキスト

編輯
印刷
發行
人

東京市豊町區富士見町三ノ三
柴山格太郎

發行所
井上通信英語學校

is black; the steamers are black with a swarming, eager multitude, come to see the picked youths of the upper class try their strength against one another.

(3) Now the crowd surges to and fro, and there is a cheer. The men are getting into their boats. The police-boats are busy clearing the course. Now there is a cheer of admiration. Cambridge dashes out, swings round, and takes her place at the bridge.

dou ウィンドウ) 窓。steamer ('sti:mə スティーマ) 蒸気船。swarming ('swɔ:mɪŋ スウォーミング) [形] 群つた。eager ('i:gə イーガ) 熱心な。multitude 'mʌltitju:d マ・ルティテュード) 大勢。picked (pɪkt ピックト) 最上の、揀り抜きの。strength (streŋ(k)θ ストレン(ク)ス) 力。the steamers are black with a swarming, eager multitude, (come to see the picked youths of the upper class) 群を直譯すると「蒸気船は (the steamers)、上流の階級の of the upper class) 揀り抜きの青年達が (the picked youths) 互に (one another) 自分達の力を (their strength) 競ふ (try...against) のを見るために来た (come to see) 群を、熱心な群衆 (a swarming, eager multitude) のために (with) 黒い (are black) となつて、結局 [譯]

船は黒い、これは上流階級の粒選りの青年達が互に自分達の力を試み、競ふのを眺めやうとしてやつて来た熱心な澤山の人々が群つてゐるためである。

(3) さて、群衆は彼方此方へ波のごとくに揺れ動き、歓呼の聲が湧き上る。人々は彼等の端艇に乗り込む。警察用の端艇は忙しげに水路を開いてゐる。さて賞讃の歓聲が上る。ケンブリッジは(矢のやうに)飛び出て、ぐるりと一廻轉し、橋の邊に止る。

の所のやうな意味になる。with […のために] は前の四つの black にかゝるものであることに注意。crowd (kraʊd クラウド) 群衆。surge (sɜ:dʒ サ〜ヂ) 波打つ、揺らぐ。to and fro は熟語で「彼方、此方に」。cheer (tʃɪə チア) 喝采、歡呼。get into...は「…へ乗込む」で are getting into...は「…へ乗込みつつある」。police-boat (pə'li:sbəʊt ポリースボート) 警察の端艇。clear (kliə クリア) は「(障害を) 除く」で、此處では、course (kɔ:s コース) [水路] の妨げとなるものを「取り除く」の意。admiration (æd'mɪ'reɪʃən アドミレイション) 感嘆、賞讃。dash (dæʃ ダッシュ) 突進する。swing (swɪŋ スウィング) 廻轉する。で swing round は「ぐるりと廻轉する」。takes her place at the bridge は「橋 (the bridge) の所で (at) その場所を (her place) 取る (takes)」で「橋のところに止

④ Another shout. Oxford sweeps majestically out and takes her place by Cambridge. Away go the police-galleys, away go all the London club-boats, at ten miles an hour down the course. Now the course is clear, and there is almost a silence.

⑤ Then a wild hubbub, and people begin to squeeze and crush against one another. The boats are off; the fight has begun; then thirteen steamers coming roaring on after them, and their wake is alive once more with boats.

⑥ Everywhere a roar and a rushing to and fro. Frantic crowds upon the towing-path, mad crowds on the steamers, which make them sway and rock fearfully. As an eye-piece to the picture, two soli-

④ 再び叫び聲が起る。オックスフォードは堂々と速かに進み、ケンブリッジの傍に止る。一時間十哩の速さで、水路を警察の大端艇ロンドンの凡ての倶楽部の端艇が下つて行く。さて、水路は開けた。沈黙が殆んど邊を支配する。

⑤ 次に荒々しい喧騒。人々は互に押し合ひ、へし合ひし始める。端艇は出發する。戦は始まつた、次に十三艘の蒸氣船は大聲を立て、彼等の後を追つて行く。彼等の船跡は再び(幾多の)端艇で賑ふ。

⑥ 至る所、喚聲が起り、彼方此方に人は駆けめぐる。曳船路上の狂亂せる群集、蒸氣船上の狂氣せる群集、船は彼等を恐ろしく揺すぶり、揺れ動かす。對

る] の意。sweep (swi:p スウィープ) は「かすり通る」out は sweep の意味を強める。majestically (mə'dʒestikəli マヂェ・スティカリ) 堂々々。away go は 終りの down the course 「水路(the course)を下つて(down)」にかかる。police-galley (pə'li:s'gæli ホリ・ースガ・リ) 警察用の端艇。at ten miles an hour は「一時間(an hour)につき(an) 十哩で(at ten miles)」。silence ('saɪləns サ・イランス) 沈黙。hubbub ('hʌbʌb ハ・ババ) がやがや、騒動。squeeze (skwi:z スクィーズ) も crush (kraʃ クラッシュ) も共に「押す」one another は「互に」squeeze and crush against one another は「互に押し

合ふ」fight (fait ファイト) 戦ひ。roaring ('rɔ:riŋ ロ・ーリング) 吠えつつ。wake (weɪk ウェイク) 船跡。their wake is alive once more with boats は「それらの船跡は(their wake)今一度(once more)ボートで(with boats)活潑である(is alive)」roar (rɔ:ロ・ー) となり聲。rushing ('rʌʃɪŋ ラ・シング) 突進。frantic ('fræntɪk フラ・ンティック) 狂亂せる。towing-path ('tuɪŋpɑ:θ ト・ウイングパーズ) 曳船路。which は steamers を、them は crowds を受ける。sway (swei スウェイ) 及び rock (rɒk ロック) は共に「揺れ動かす」の意味。fearfully ('fiəfʊli ファ・アフリ) 恐ろしく。eyepiece ('aɪpɪs アイピース) 「對眼(接眼)レンズ」

tary flying boats, and the flashing oars, working with the rapidity and regularity of a steam-engine.

(7) For one half-second a light shadow crosses the Oxford boat, and then it is out into the sunlight beyond. In another second the same shadow crosses the Cambridge boat. Oxford is ahead.

(8) Again the shadow goes over the Oxford boat, and then one, two, three, four seconds before the Cambridge men pass beneath it. Oxford is winning! There is a shout from the people at Barnes. Cambridge has made a furious rush, and drawn nearly up to Oxford; but it is useless. Oxford leaves rowing, and Cambridge rows ten strokes before they are level.

solitary (ˈsɒlətəri ソ・リタリ) 單獨の、群を離れたる。**flashing-oars**, working with the rapidity and regularity of a steam-engine (は直譯すると「蒸氣機關の(of a steam-engine)迅速さ(the rapidity)と規則正しさ(regularity)を以て(with)動きつつある(working)閃く櫂(flash-oars)」) for one half-second (は「一秒半の間」)。**shadow** (ˈʃædəu シャドゥ) 影。**cross** (krɒs クロス) 横切る。**sunlight** (ˈsʌnlait サ・ンらいト) 太陽の光線。**beyond** (biˈjɒnd ビヨ・ンド) 彼方の。**ahead** (əˈhed ア・ヘ・ド) (形) 前に進んで one, two, three, four seconds before the Cambridge men pass beneath it (は「ケンブリッジの人々が(the Cambridge men)その下を(beneath it)過ぎる」)

眼レンズの寫眞に對するが如く二艘の群を離れて飛び行く端艇閃く櫂は、蒸氣機關の速さと規則正しさを以つてゐる。

(7) 一秒半の間、軽い蔭がオックスフォードの端艇を横ぎる、それから、(再び)先方の日の射す邊に出る。次の一秒間、同じ蔭がケンブリッジの端艇を横ぎる。オックスフォードが先だ。

(8) 再び、蔭がオックスフォードの端艇の上を掠める。それから一秒、二秒、三秒、四秒たつてケンブリッジがその下を過ぎる。オックスフォードが優勢だ。バーンズにゐる人々から喚聲が起る。ケンブリッジは激烈な突進を試み、殆んどオックスフォードの間近に迫つたが、効果がない。オックスフォードは漕ぐを止め、ケンブリッジは十本の櫂を入れて、共に平行になる。

neath it)過ぎる(pass)前に(before)一秒、二秒、三秒、四秒(one, two, three, four seconds))で、結局『譯』やうな意味になる。is winning (は win (win ウィン)の現在進行形で、「勝ちつつある」)。**furious** (ˈfjuəriəs フュ・アリヤス) 狂暴な、激しい。draw up to... (は「...へ近づく」)で has drawn up (はその現在分詞で「...へ近づいた」)。**and** と drawn との間に、has が略されてゐることに注意。leaves rowing (は「漕ぐことを(rowing)止める(leaves)」)。**Cambridge rows ten strokes before they are level** (は「ケンブリッジは(Cambridge)、彼等が平行する(they are level)前に(before)十漕を(ten strokes)漕ぐ(rows)」)で、意味は『譯』のごとし。



Educational Records

The Day Is Done

By Henry Longfellow

The day is done, and the darkness
Falls from the wings of Night
As a feather is wafted downward
From an eagle in its flight.

日は終りぬ、暗闇は

夜の翼より落つ、

恰も飛び行く鷲より、

羽毛の落ちて漂ひ行くがごとく。

I see the lights of the village

Gleam through the rain and the mist

And a feeling of sadness comes o'er me

That my soul cannot resist.

われ、村の燈火の

雨と霧の中に洩れ輝くを眺め、

我が心の抑へがたなき

悲しみの、内に湧くを覺ゆ。

【註】 done (dan ダン) は「終れる」で the day is done は「日は終つた」の意味。darkness ('dɔ:k nis ダークニス) 暗闇。wing (wɪŋ ウィング) 翼。as a feather is wafted downward from an eagle in its flight は直譯すると「一つの羽毛が(a feather) 飛翔中の(in its flight) 鷲から(from an eagle) 下の方へ(downward) 漂ひ流れる(is wafted) 如く(as)」となる。I see the lights of the village gleam through the rain and the mist は

直譯すると「私は(I) 雨と霧(the rain and the mist) を通じて(through) 村の燈が(the lights of the village) 輝くのを(gleam) 見る(see)」。sadness ('sædnɪs サ・ドゥニス) 悲哀。o'er は over の略。comes o'er me は「私の上に(o'er me) 来る(comes)」で、悲しみの情が「私の心の中に湧いてくる」ことを意味する。that は a feeling of sadness 「悲哀の情」を受ける。soul (souल ソウル) 魂、心。resist (ri'zɪst リズィスト) 抵抗する。

A feeling of sadness and longing,
That is not akin to pain,
And resembles sorrow only
As the mist resembles rain.

そは悲しみ、又遠瀬なき憧れの情なれ。
そは痛みとも名づけがたなし、
そは、霧の雨に似るがごとくに、
たゞ、悲しみにのみ似たるらむ。

Come read to me some poem,
Some simple and heartfelt lay,
That shall soothe that restless feeling,
And banish the thoughts of day.

來りて、我にさる歌を、讀み給へかし、
安らひを知らぬ心を慰め、
一日のくさぐさの思を拂ふなる、
さる飾りなき、心からなる歌を讀みたまへかし。

Not from the grand old masters,
Not from the bards sublime,
Whose distant footsteps echo
Through the corridors of time.

その足跡は遠く、
時の廊下に木魂するなる

古の、壯なる巨匠、
いや貴き歌人の歌を、我は欲りせず。

longing (ˈlɒŋɪŋ ろ・ンゲインク) 憧れ。akin (əˈkɪn ア・キン) 類似せる。resemble (rɪˈzembl リゼンブる) 似る。sorrow (ˈsɒrəʊ ソ・ロウ) 悲哀。come read to me は come to read me で [私に(me)讀む(read) ために(to) 來れ(come)] の意味。heartfelt (ˈhɑːtfelt ハ・ートフエルト) 真心からの。心からの。lay (leɪ れイ) 歌。soothe (suːð スーず) 慰める。restless (ˈrestlɪs レ・ストゥリス) 平安の無い、そはそはした。banish (ˈbænɪʃ バ・ニシュ) 放逐する。thought (θɔːt そーと) 思ひ。not from... は read not from... (...から(from)讀む勿れ(read not)) の意味。grand

(grænd グランド) 壯大なる。master (ˈmɑːstə マ・スタ) (一藝一能に達した人) [達人] [巨匠]。bard (bɑːd バード) 詩人。sublime (səbˈlaɪm) 莊嚴なる、崇高なる。distant (ˈdɪstənt ディ・スタント) 遠い。footstep (ˈfʊtstep フ・トステップ) 足音。echo (ˈekəu エ・コウ) 反響する。corridor (ˈkɒrɪdə コ・リダ) 廊下。whose distant footsteps echo through the corridors of time は [その詩人達の(whose) 遠い足音は(distant footsteps) 時の廊下を(the corridors of time) 通つて(through) 反響する(echo)] で、詩人達の名聲が後世迄にも傳はつてゐることを意味する。

For, like strains of martial music,
 Their mighty thoughts suggest
 Life's endless toil and endeavour;
 And to-night I long for rest.

そは、軍の樂の調のごとく、
 かれら歌人の偉^{おほ}ひなる思想^{おもひ}は、
 人の世の勞苦^{つとめ}、努力の絶えざるを偲^{おも}はするなれ。
 されど、今宵^{こよひ}はわれ、休息^{やすみ}を欲^ほりす。

Read from some humbler poet,
 Whose songs gushed from his heart,
 As showers from the clouds of summer,
 Or tears from the eyelids start;

我に讀^よみたまへかし、その歌は、
 恰も驟雨^{まよふた}の夏の雲間より打ち注ぎ、
 涙の眼^{まよふた}よりかはふり落つるが如くに、
 心より迷^{まよ}ひ出でにし、さる名もしられぬ歌人の歌を。

Who, through long days of labour,
 And nights devoid of ease,
 Still heard in his soul the music
 Of wonderful melodies.

彼等は、長き一日を努め、苦しみ、
 夜は安^{やす}きにも恵まれざりしが、
 されどその魂^{たま}の中に、

くすしくも妙なる樂の音をこそ聞きにしか。

strains (streinz ストレインズ) 調子。martial (ma:ʃəl マーシャル) 戦の。music (mjuz:ik ミュージック) 音楽。mighty (maiti マイティ) 偉ひなる。suggest (sə'dʒest サヂェスト) 暗示する、仄めかす。endless (endlis エンドウリス) 終りの無い。toil (toil トイ) 勞苦。endeavour (en'devə エンデヴァ) 努力。long for... (…を憶れる) […を欲する] humble (hambəl ハムブル) [形] へりくだつた。humbler (hamblə ハムブラ) [はその比較級で「よりへりくだつた」] gush (gʌʃ ガッシュ) [は「迷り出る」] gushed (gʌʃt ガッシュト) [はその過去で「迷り出た」]。as showers

from the clouds of summer, or tears from the eyelids start (は直譯すると「驟雨が (showers) 夏の雲 (the clouds of summer) から (from)、又は (or) 涙が (tears) 眼瞼から (from the eyelids) 發する (start) 如く (as)」の意味。who is some humbler poet を受けて、[彼等は] の意。labour (leibəれイバ) 勞苦。devoid of... は「無き」で nights devoid of ease は「氣輕さ (ease) の無い (devoid of) 夜 (nights)」の意味。the music of wonderful melodies は「驚くべき (wonderful) 旋律 (melodies) の (of) 音楽 (the music)」。

Such songs have power to quiet

The restless pulse of care,
And come like the benediction
That follows after prayer.

かゝる歌こそ、憂き悲しみに

憩ひを知らぬ胸を静め、

祈の後に従ひ来る

祝福のごと、訪るゝなれ。

Then read from the treasured volume

The poem of thy choice,
And lend to the rhyme of the poet
The beauty of thy voice.

さらば、讀みたまへ、いたくも賞づる書の中より、

汝が好み給ふなる歌を。

しかして、その歌人の韻律に、

汝が聲の美しさを加へませ。

And the night shall be filled with music,

And the cares, that infest the day,
Shall fold their tents, like the Arabs,
And as silently steal away.

さらば、夜は樂の音にて満ち、

日にまつはるなる憂き悲しみも、

アラビヤ人のごとくに、その幕屋をたゝみ、

彼らのごとくに、忍び去りて行かなむ。

quiet (kwaɪət クワイアット) 静める。the restless pulse of care は〔憂苦の (of care) 平安のない脈搏 (the restless pulse)〕で〔憂ひ悲しみて、身内の血管も不安げに流れてゐる事〕を指す。benediction (beni'dikʃən ベニディクシャン) 祝福。follow (fə'ləu フォロー) 〔…に従つて来る〕。prayer (preə プレー) 祈禱。treasured ('treʒəd トゥレ・チャド) 〔珍重されたる〕〔秘藏されたる〕。volume ('vɒljʊ:m ヴォ・リウム) 本、書物。poem ('pəʊɪm ホウイム) 詩。choice (tʃɔɪs チョイス) 選み、選擇。of thy choice は〔汝の選擇の〕で〔お前の好きな〕の意味。lend (lend レンド) 與へる。rhyme (raɪm ライム) 韻、韻律を踏んだ詩。beauty ('bju:ti ビ

ューティ) 美。voice (voɪs ヴォイス) 聲。night (nait ナイト) 夜。shall be filled with music は〔音樂 music) で (with) 満たされる (be filled) であらう (shall)〕。the cares, that infest the day, shall fold their tents like the Arabs は、直譯するに〔日 (the day) を悩ます (infest) さころの (that) 憂苦 (the cares)、アラビヤ人のごとくに (like the Arabs) それらの幕屋 (their tents) たたむ (fold) であらう (shall)〕で、〔日中の苦しみも、アラビヤ人がその幕屋を疊んで又外の土地へ移つて行くやうに無くなるであらう〕といふことを意味する。as silently は〔同様に (as) 沈黙して (silently) で、〔アラビヤ人と同じく黙つて〕の意味 steal away は〔彼方へ (away) こつそりと去る (steal)〕の意味。

昭和十年十一月廿五日印刷
昭和十年十一月一日發行

INOUE'S ENGLISH CORRESPONDENCE COURSE

第三學期第十二號附錄

6—A

Educational Records

井上英語教育
レコードテキスト

編輯人 柴山格太郎
東京市豊町區富士見町三ノ三

發行所 井上通信英語學校
東京市豊町區富士見町三ノ三

On The Conduct Of Life

By William Hazlitt

① My Dear Little Fellow, —
You are now going to settle at school and may consider this as your first entrance into the world. As my health is so indifferent, and I may not be with you long, I wish to leave you some advice (the best I can) for your conduct in life, both that it may be of use

處世に關して

ウィリアム ハズリット 作

① 私の愛する小供よ、——お前は今學校生活をしようとしてゐる、そしてこれをもつてお前が初めて世の中へ入ることだと考へてゐるかもしれない。私は健康が大變良くないし、お前と一緒に長くゐることも出来ないだらうから、世の中におけるお前の行について、或る忠告を(私の爲し得る最善の忠告を)お前に遺しておかうと思つてゐる、

【註】 on は『に關して』 conduct ('kɒndəkt コンダクト) 行爲。conduct of life は『人生の(of life) 行爲(conduct)』で、『處世』 my dear little fellow は『私の(my) 愛する(dear) 小さき者よ(little fellow)』で、我が子に呼びかける言葉。settle at school は『學校に(at school) 落着く(settle)』。be going to... は『…せんとする』で you are going to settle at school は『お前は學校に落着かうと

してゐる』の意味。health (helθ へるす) 健康。indifferent (in/di frənt インディ・フランド) [形] 貧弱な。弱い。leave (li:v リーヴ) 殘す。advice (ə/dvaɪs アドヴァイス) 忠告。the best I can は the best advice that I can の略で『私が爲し得る(I can) ところの(that) 最善の忠告(the best)』の意味。both... and— は『…又—』の意味。that... may— は『…が一せんがために』で、both that it may be of

(6Aの1)

to you, and as something to remember me by. I may at least be able to caution you against my errors, if nothing else.

(2) As we went along to your new place of destination, you often repeated that you durst say they were a set of stupid, disagreeable people, meaning the people at the school. You were to blame in this. It is

これはその忠告がお前に役立ちそして(又)私をそれでもつて記憶しておく或物とでもするためである。私は、何が出来なくとも、少くとも、私の犯した誤を犯さないように、お前に警告することが出来るだらう。

(2) 私達は、お前の新しい目的地へ向け歩いて行つたとき、お前は度々學校の人々を指して、自分はあの人達が愚鈍で、不愉快な仲間であると斷言しますと繰返したね。そんなことは、お前良くないよ。最善のものを望

use to you, and—は『それが(it) お前に (to you) 役立たんがために (may be of use) 又 (both...and)—』となる。and as something to remember me by は詳しくかくと and that it may be of use to you as something by which to remember me となるので『又 (and) それが (it) 私を (me) それによつて (by which) 記憶すべき (to remember) 或物として (as something) 君に (to you) 役立たんがために (that...may be of use)』の意味。at least は『少くとも』。be able to ...は『...出来る』の意。caution (ˈkɔːʃən コーシャ) 警戒する。error (ˈerə エーラ) 誤。caution you against my errors は『私の誤 (my errors) を犯させぬやうに (against) お前を警戒する (caution you)』。if nothing else は if I can caution you against nothing else の略。意味は『外の何物に對しても (against nothing else) 君を警戒出来ない (can caution you...nothing)

にしても (if)』。went along は go along 『歩いて行く』の過去で『歩いて行つた』 new place of destination は『目的地(destination)の(of) 新しい (new) 土地 (place)』で、『新しい目的地』の意味。you often repeated that you durst say they were a set of stupid, disagreeable people, meaning the people at the school は『君は (you) 學校に於ける人々を (the people at the school) 意味して (meaning)、彼等は (they) 一組の (a set of) 愚鈍な (stupid)、不愉快な (disagreeable) 人々 (people) である (were) と君は敢て言ふ (you durst say) といふことを (that) 屢々 (often) 繰返した (repeated)』となる。be to blame は『咎められるべきである』で you were to blame in this は『お前は (you) これに於て (in this) 咎められるべきであつた (were to blame)』の意味。blame は形こそ『受身』になつてゐないが、意味は『受身』であることに注意。a good

(6Aの2)

a good old rule to hope for the best. Always, my dear, believe things to be right till you find them the contrary; and even then, instead of irritating yourself against them, endeavour to put up with them as well as you can, if you cannot alter them. You said you were sure you should not like the school where you were going. This was wrong. What you meant was that you did not like to

むといふことは(良い)昔からの定めなんだよ。愛する者よ、何時もお前は物事をその反対が解るまでは良いやうに信じなさい。そしてその反対であることが解つたときでも、若しそれを變更することが出来な^{いら}いなら、それに反抗して、苛^{いら}々なんかししないで、出来るだけ我慢するように努力しなさい。お前は、自分はきつと自分の行く學校を好きにならないと言つたね。これは良くない。お前の言ひたかつたことは、自分は家を離れたくない

old rule は直譯すると『良い(good)古い(old)掟(rule)』であるが、この good は、特別用法の good で譯する必要はない。例へば、my good friend(私の友よ)、our good ship(我々の船)の如くである。to hope for...は『...を望むことは』の意味で、前の it にかかるもの。believe things to be right till you find them the contrary は直譯すると、『物事を(things)正しいやうに(to be right)信ぜよ(believe)君が(you)それらを(them)その反対に(the contrary)見出す(find)迄(till)』となり、結局譯のやうになる。even then は『その時(then)ですら(even)』。instead of...ing は『...する代りに』『...しないで』の意。instead of irritating yourself against them は『それら(them)に反抗して(against)君自身を(yourself)いら^{いら}させる(irritating)代りに(instead of)』。endeavour to put up with them は『それらを(them)我慢する(put up with)や

うに(to)努めよ(endeavour)』。put up with...は熟語で、『...を我慢する』。as well as you can は慣用句で『君の出来るだけ』。alter(オルター)改める。you said you were sure you should not like the school where you were going は『君は(you)君が行きつつある(you were going)ところの(where)學校を(the school)好まないであらう(you should not like)といふことが確實である(you were sure)と言つた(said)』この文は you said と you were との間及び you were sure と you should... との間の二箇所に『といふことが』と『と』にあたる that が省略されてゐるのである。wrong (rong) ロンガ 誤れる。meant (ment メント) は mean (mī:n ミーン「意味する」)の過去及び過去分詞。what you meant は『君が意味した(you meant)ところのもの(what)』で『君の言ひたかつたことは』の意味。

(6Aの3)

leave home. But you could not tell whether you should like the school or not, till you had given it a trial. Otherwise, your saying that you should not like it was determining that you would not like it. Never anticipate evils; or, because you cannot have things exactly as you wish, make them out worse than they are, through mere spite and wilfulness.

(9) You seemed at first to take no notice of your school-

leave home は『家を去る』『家を離れる』。(英國では中流上流階級の子弟は學校に入ると、父母の許を離れて、寄宿生活をするを頭に入れて欲しい)。you could not tell whether you should like the school or not, till you had given it a trial は『君が(you)それに(it)試みを(a trial)與へる迄(till... had given... a trial)君は(you)學校を好むであらう(you should like the school)か否かを(whether... or not)語ることが出来なかつた(could not tell)』で、結局譯の所のやうな意味になる。otherwise, your saying that you should not like it was determining that you would not like it は『さうでなくて(otherwise)お前はそれを好まないだらう(you should not like it)といふことを(that)君が言ふことは(your saying)君がそれを好みたくない(you would not like it)』といふこ

といふことだつたのだ。併し、お前は學校が好きになるか、ならないかは、お前がやつてみない中は、何とも言へなかつた筈だよ。さうでなくて、お前が學校を好きにならないだらうと言つたことは、お前が好きにならないといふことを決定してゐたのだ。決して悪いことを豫想してはならない。又は、お前が物事をお前の欲するまゝにすることが出来ないからと言つて、單なる憎惡とか我儘とかから、それを現在よりも悪くしてはならない。

(9) お前は最初お前の學校友達にちつとも氣附かぬやうに見え

とを(that)決定しつゝあつたのだ(was determining)』。anticipate (æn'tisipeit アンティ・スィペイト) 豫期する。evil (i:vl イーヴル) 惡。or, because you cannot have things exactly as you wish, make them out worse than they are, through mere spite and wilfulness は直譯すると『或は(or)君が(you)君の望むやうに(as you wish)正確に(exactly)物事を持つことが出来ない(cannot have things)ために(because)單なる(mere)敵意(spite)と(and)我儘(wilfulness)を通して(through)、それらを(them)それらが現在あるよりも(than they are)もつと悪く(worse)するな(never...make out)』となり make them out...は前の never にかゝることに注意する。take notice of...は『...を注意する』『...に注目する』take no notice of...は『...を何等注意しない』『...に何等注目しな

fellows, or rather to set yourself against them, because they were strangers to you. They knew as little of you as you did of them, so that this would have been a reason for their keeping aloof from you as well, which you would have felt as a hardship. Learn never to conceive a prejudice against others, because you know nothing of them. It is bad reasoning and makes enemies of half the world.

い』の意。school-fellow (/sku:l felou スクールフェロウ) 学校友達。or rather 『或は(or) 寧ろ(rather)』。set yourself against them は『君自身を(yourself)彼等に抗つて(against them)置く(set)』で『君自身彼等に反抗する』の意味。stranger (/streindʒə ストレンジャー) 他人。見知らぬ者。They knew as little of you as you did of them は they knew as little of you as you knew little of them 『君が(you) 僅かしか(little) 彼等について(of them) 知らなかつた(knew) やうに僅かにしか(as little...as) 彼等は(they) 君について(of you) 知らなかつた(knew...little)』 little は『僅かしか...ない』といふ打消の意味がある。so that は『それで』。keep aloof from...は『から遠ざかる』で keeping aloof

だね、寧ろ、その人達がお前にとつては見知らぬ者であるから反抗するやうに見えたね。その人達は、お前がその人達のことを知らないやうに、お前を知らないのだ、それで、その人達が同じやうに、お前から離れてゐたのであらう。それをお前は辛いことだと感じたのであらう。お前は他の人達を知らないからと言つて、その人達に決して偏見を抱かないやうにしろ。それは悪い當推量で、世の中の半分の者達を敵にするのだよ。

from you は『君から遠ざかること』の意味。this would have been a reason for their keeping aloof from you as well which you would have felt as a hardship 『是が(this) 同じく(as well) 君から彼等の遠ざかること(their keeping aloof from)に對する(for) 理由(a reason)であつたであらう(would have been) それを(which) 君は(you) 耐へ難いこと(hardship)として(as) 感じたであらう(would have felt)』。learn lə:n(〜ン) 學ぶ。conceive a prejudice は『偏見を(a prejudice) 抱く(conceive)』。reasoning (/ri:znɪŋ リーズニング) 推理。make an enemy of...は『...を敵とする』で、makes enemies of half the world は『世の中の半分を(half the world) 敵とする(make enemy of)』の意味。



本レコード英文著作者
井上十吉先生

本レコードに使用された英文は我國英學界の父、井上十吉先生御著作の『井上英語講義録』及び中等教科書『井上英語新讀本』(Inoue's New English Readers) 及び『井上英語補助讀本』(Inoue's Supplementary English Readers) 中にあります。



本レコード吹込者
Andrew F. Thomas 先生

本レコード吹込者は、東京文理科大學及び東京高等師範學校教授兼法政大學講師であるアンドリュ・エフ・トマス先生であります。先生は純英國人で、井上通信英語學校校長井上常藏先生と同じく英國オックスフォード大學御出身であります。その溫雅圓滿なる人格と共に、その發音は極めて正しく殊に『子音』の明瞭な事は他のレコードの及ぶ所ではありません。

【注意】 本レコードは、一分間に七十六回轉の速度で御掛け下さい(レコード袋には八十回轉とありますが)。正しく七十六回轉にするには、最初蓄音器の圓盤の一箇所に白い紙を貼り、次に機械な回轉を乍ら、時計の秒針とその白い紙とを見比べて、一分間に何回白い紙が回轉したかを調べ、遅い速いを調節器で調節して、丁度七十六回轉になるやうに合はせて下さい。

また、原文と引き合はせて讀む際、讀み易くするために、最初は蓄音器の回轉數を六十五回轉位にしてやつて見るのも有益です。そして、數回やつてついてゆけるやうになつたら、次は七十回轉位、それから最後は矢張七十六回轉にすれば、それが正しい音聲であります。やつて御覽なさい。

Educational



Records

Habits

By Dr. John Todd

(1) Our whole character may be said to be comprehended in the term *habits*; so that it is not far from the truth to say that "man is a bundle of habits." Suppose you were compelled to wear an iron collar about your neck through life or a chain upon your ankle; would it not be a burden every day and hour of your existence? You rise in the morning a prisoner to

習 慣

ジョン トッド博士作

(1) 我々の全性格は 習慣といふ言葉の中に包含されると言つてよろしい。それで『人間は習慣の束である』と言ふことはそんなに本當のことから、かけ離れてはゐない。諸君は一生、諸君の頸の周りに鐵製のカラーを、又は諸君の踝の上に鎖を着ける事を餘儀なくされたと思像して見給へ。それは諸君の生活の毎日、毎時間の重荷ではなからうか。諸君は朝、諸君の鎖に繋が

【註】 *habit* (/ˈhæbɪt/ ハ・ビット) 習慣。 *whole* (/hoʊl/ ホウ) 全部の。 *character* (/ˈkærɪktə/ キャ・リクタ) 性格。 *may be said* は『言はれ (be said) てよろしい (may)』『言つて差支へない』の意味。 *comprehend* (/kəmˈpriːhɛnd/ ニンプリヘンド) は『包含する』で *be comprehended* はその受身で、『包含される』。 *term* (/tɜːm/ タム) 言葉。 *so that*…『それで…』。 *it is not far from the truth to say that*…は、直譯すると『…といふことを (that) 言ふことは (to say) 眞理から (from the truth) 遠く (far) ない

(is not)』。 *bundle* (/ˈbʌndl/ パ・ンドゥル) 束。 包み。 *suppose* (/səˈpəʊz/ サボ・ウス) は『想像する』で、此處では文頭にあるから『想像せよ』の意。 *be compelled to*…は『…(すること)を餘儀なくされる』で *you were compelled to wear* は『君は着けることを餘儀なくされた』の意。 *through life* は熟語で『一生』。 *ankle* (/ˈæŋkl/ ア・ンクル) 踝、足首。 *burden* (/ˈbɜːdn/ バ・〜ドゥン) 重荷。 *existence* (/ɪɡˈzɪstəns/ イグズィ・スタンス) 存在。 *prisoner* (/ˈprɪznə/ プリ・ズナ) 囚人。 *you rise*

your chain; you lie down at night weary with the burden; and you groan the more deeply, as you reflect that there is no shaking it off. But even this would be no harder to bear than many of the habits of men, nor would it be more difficult to shake off.

(2) Habits are easily formed, especially such as are bad; and what to-day seems to be a small affair will soon become fixed and hold you with the strength of a cable. That

in the morning a prisoner to your chain は『お前は (you) お前の鎖に (to your chain) 囚人となつて (a prisoner)、朝 (in the morning) 起きる (rise)』, weary with the burden は『重荷 (the burden) に疲れて (weary with)』, you groan the more deeply, as you reflect that there is no shaking it off は直譯すると『お前が (you) それを (it) 振り落すことが出来ない (there is no shaking it off)』といふことを (that) お前が反省する (you reflect) とき (as)、それだけよけいに (the more) 深く (deeply) お前は呻く (you groan)』となる。there is no ...ing は『...することが出来ない』の意味。shake off は『振り落す』で there is no shaking it off は『それを振り落すことが出来ない』の意味。even this would be no harder to bear than... は『是ですら (even this) ...より (than) 堪え

れて起きる、諸君は夜その重荷に疲れて身を横へる。そして諸君は、それを取り去ることが出来ないと考へて、益々深い呻き聲を立てる。併し、これでさへ人間の多くの習慣よりも、堪へるに辛いものではなく、又取り去るに困難なものではない。

(3) 習慣は、特に悪い習慣は容易に作られる。そして今日小さな事柄のやうに思へるものは、間もなく固定して、強い太綱のやうなもので諸君を束縛するであらう。その太綱は、一時に一

るのに (to bear)、何等より困難ではなからう (would be no harder) の意味。nor は『又...でない』。difficult (ˈdɪfɪkəlt ディ・フィカルト) 困難な。easily (ˈiːzɪli イ・ーズイリ) 容易に。are formed は『造られる』。especially (ɪsˈpeʃəli イスベ・シャリ) 特に。such as are bad は such habits as are bad の略で『悪い (are bad) やうな (as) さうした (such) 習慣 (habits)』の意味。affair (əˈfeə アフェア) 事柄。fixed (fɪkst フィクスト) 確乎たる。不動の。become fixed は『確定する。不動になる』。hold (həʊld ホウルド) しつかり握る。with the strength of a cable は『太綱の (of a cable) 力を以つて (with the strength)』で『頑丈な太綱で』の意味。you will recollect は『お前は (you) 憶ひ出す (recollect)』であらう (will)』で、挿入句である。is

(6Bの 2)

same cable, you will recollect, is formed by spinning and twisting one thread at a time; but when once completed, the proudest ship turns her head towards it and acknowledges her subjection to its power.

(3) Habits of some kind will be formed by every student. He will have a particular course in which his time, his employments, his thoughts and feelings will run. Good or bad, these habits soon become a part of himself and a kind of second nature. Who

formed by spinning and twisting one thread at a time (は直譯すると『一時に (at a time) 一つの糸を (one thread) 紡ぐこと (spinning) 及び (and) 撚ること (twisting) により (by) 形成される (is formed)』となる。when once completed (は when it is once completed の略で『それが (it) 一度び (once) 完成される (is completed) とき (when)』の意。proud (praud プラウド) は『立派な』で the proudest はその最上級の形容詞。acknowledges her subjection to its power (は『その力に對する (to its power) その屈服を (her subjection) 認める (acknowledges)』で『どんな意志強固な人でも、一度び習慣が作られると、それに負けて了ふことをどうすることも出来ない』ことを言つたもの。some kind は『或る (some) 種

糸を紡ぎ、撚ることによつて作られる。併し一度(それが)完成されるや、最も堂々たる船ですらも、その方に向つて船首を曲げ、その力に自ら屈服することを承認するのである。

(3) 或る種の習慣は 凡ゆる學生によつて作られるであらう。彼は、彼の時間、彼の職業、彼の思想、及び感情が動いて行く一定のコースを持つであらう。善きにつけ、惡しきにつけ、是等の習慣は間もなく彼自身の一部一種の第二の天性となるであら

類(kind)』。student ('stju:dənt ステューダント) 學生。he will have a particular course (は『彼は (he) 特別の (particular) 経路を (course) 持つであらう (will have)』。in which (は『その中を』で which は course を受ける。employment (im'ploiment インプルー・イマント) 職業。thought (0u:t そート) 思想。feeling ('fi:liŋ フィーリング) 感情。will run (は『走るであらう』で『思想、感情、職業等の動きが、河の流れのごとく、一定のコースに従つて流れること』を意味したもの。a part (は『一部分』。a kind of... (は『一種の...』と譯する。who does not know that... (は『...といふことを (that) 誰が知らないか (who does not know)』で『...といふことは、誰でも知つてゐる』の意味。has

(6Bの3)

does not know that the old man, who has occupied a particular corner of the old fire-place in the old house for sixty years, may be rendered wretched by a change? Who has not read of the release of the aged prisoner of Bastile, who entreated that he might again return to his gloomy dungeon, because his habits there formed were so strong that his nature threatened to sink under the attempt to break them up?

occupied は **occupy** (‘okjupai オ・キュバイ) 『占める』の現在完了で、『占めた』の意。corner (‘kɔ:nə コーナ) 隅。fire-place (‘faɪəpleɪs ファ・イアブレイス) 爐。あり。render wretched は 『みじめに (wretched) する (render)』で be rendered wretched はその受身で 『みじめにさせられる』 by a change 『變化 (a change) によつて (by)』。who has not read of… は 『誰が (who) …について (of) 讀まなかつたか (has not read)』で 『誰でも讀んである』の意味。release (ri/‘li:s リリ・ース) [名] 釋放。aged (‘eidʒd エ・イザド) [形] 年取つた。Bastile (bas/‘ti:l バスティール) 『バスティール』(有名な監獄のある所)。entreat (in/‘tri:t

う。過去六十年の間、古い家の古い爐の、ある一定の片隅を占めてゐた老人がその位置が變つたために、不幸に陥ることを、誰が知らないであらうか。陰惨な牢獄の中で、造られた習慣が非常に強く、そのため、その習慣を破壊しようとする企てのために、その天性が死ぬばかりの苦しみに陥つたがために、再びその牢獄に歸ることを願つたバステールの老囚人釋放の件を誰が讀まないであらう?

イントカリ・ート) 願ふ。乞ふ。that ……might—は 『……が—するやうに』。return (ri/‘tɔ:n リタ・〜ン) は 『歸る』で、that he might again return to his gloomy dungeon は 『彼が (he) 再び (again) 彼の (his) 陰惨な (gloomy) 牢獄 (dungeon) に (to) 歸るやうに (that ……might…return)』の意味。so……that—は 『非常に……なので—』で were so strong that—は 『非常に強いので—』。threaten to… は 『…しうである』で threatened to sink は 『沈みさうであつた』の意味。under the attempt to break them up は 『それらを (them) 破壊し去る (break up) べき (to) 計畫 (the attempt) の下に (under)』them は his habits のこと。

(6Bの4)

You will probably find no man of forty, who has not habits which he laments, which mar his usefulness, but which are so interwoven with his very being that he cannot break through them. At least he has not the courage to try. I expect you will form habits. Indeed I wish you to do so. But what I wish is that you form those habits which are correct and such as will every day and hour add to your happiness and usefulness.

probably ('prɒbəbli プロ・バブリ) 恐らく。**lament** (lə'ment ラ・メント) 嘆く。**mar** (mɑ: マー) 害ふ。**usefulness** ('ju:sfʊlnɪs ユー・スフルネス) 有用。役立つこと。**interwoven** (intə'wʊvɪn インタウ・ウヴン) は **interweave** (intə'wi:v インタウ・ウィーヴ) 『織り交る』の過去分詞。are interwoven は『織り交つてゐる』の意味。his very being は『彼の (his) 眞の (very) 存在 (being)』で『彼の存在そのもの』の意味。break through... は『…を破壊しきる』。at least 少くとも。**courage** ('kærɪdʒ カ・リッザ)

自分の嘆きの原因であり、自分の有用さを害つてゐるが、併し自分の存在そのものと極めて密接な關係を持つてゐるので、破壊することの出来ない習慣を持つてゐない所の四十歳の人を諸君は恐らく見出さないであらう少くともその人はそれを破壊してみやうといふ勇氣を持つてゐないのだ。私は諸君が習慣を作られることを期待する。實際、私は諸君が然か爲す事を望む。併し私の望む所は正しい習慣を毎日毎時諸君の幸福と有用さとを増進するやうなさうした習慣を作られることである。

勇氣。**expect** (ɪks'pekt イクスベクト) 期待する。**form** (fɔ:m フォーム) 形成する。**indeed** (in'di:d インディード) 實際。what I wish is that... は『私が (I) 望む (wish) ところのものは (what) ...といふこと (that) である (is)』those habits which are correct は『正當 (correct) である (are) ところの (which) それらの (those) 習慣 (habits)』。such as... は『such habits as... の略で『…のやうな (as) さうした (such) 習慣 (habits)』の意味。add to... は『…を増す』**happiness** ('hæpinɪs ハ・ピニス) 幸福。

Inouye's English CORRESPONDENCE SCHOOL

EDUCATIONAL RECORD

英語教育レコード

音質明瞭



電気吹込

英語學習と蓄音器レコード

英語は生きた言葉であります。どんな音を出して読むものか、またどんな調子で話すものか、つまり耳から音として聞かなくては英語に上達する事は望まれません。處が、蓄音器レコードに依れば、英語は飽くまでも音として耳から學ばれ、記憶も容易に「發音（聲の出し方）や抑揚（聲の高低）も正しく、しかも微妙な點までも、はつきりと聞き取ることが出来、覚えるまでは幾百回繰返して聴くも自由であります。本校は、今回、電気吹込に依る「教育レコード」の完成を俟つて、こゝに我國最初の理想的通信教授の組織を完備致しました。

東京 井上通信英語學校 發行